

平成29年度

『いわき明星大学 年報』

Annual Report 2017

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

いわき明星大学

目 次

1. 建学の理念・教育目標・沿革	1
2. 平成 29 年度巻頭 TOPICS	22
3. 地域連携活動	31
4. 教育改革	40
5. 学生の状況	
1) 学生募集の状況	41
2) 学生支援	45
3) 就職支援	53
6. キャンパスアメニティー	56
7. 平成 28 年度事業報告	57
8. 平成 29 年度事業計画	57
9. 組織図（法人・大学）・役員紹介	58
10. 資料	
1) 大学データ	61
2) 学生データ	63
3) 教職員データ	70
4) 会議データ	70
5) 教育活動	74
6) 社会貢献活動	79
7) 研究活動	79
8) FD・SD研修	80
9) 施設・設備	82
10) 報道・雑誌掲載	87

1. 建学の理念・教育目標・沿革

■建学の理念

「学校教育を行い、地域社会に貢献する人を育成すること」

■教育目標

「全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人を育成すること」

○教育内容と教育方法

大学で学ぶ意識を高める少人数・演習形式の初年次教育
さまざまな学修歴をもつ学生に対応した効果的な基礎教育
時代を見据え、地域に根ざし、体験を通して学ぶ専門教育
専門を超えた探究心と充実した心身を育む教養教育
きめ細かな個別指導と快適な自習環境の提供による学習支援

■沿革

1987 昭和 62 年	3 月	キャンパス竣工
	4 月	いわき明星大学開学
	7 月	学友会設立
	9 月	全天候型テニスコート竣工
	10 月	開学式挙行、「エリーニ像」除幕
		「エコーⅡ 世号」台湾から回航
1988 昭和 63 年	11 月	学生クラブハウス竣工
	3 月	理工学部、人文学部「研究紀要」第 1 号発刊
	4 月	各種教員免許課程始まる、聴講生制度発足 学校図書館司書資格関連科目開講
	5 月	第 1 回公開講座
	7 月	研修施設「しおさい荘」開所
1989 平成元年	10 月	第 1 回 IMU フェスティバル開催
	1 月	振動・制御実験センター竣工
1990 平成 2 年	4 月	学芸員、学校図書館司書教諭、資格関連科目開講
	4 月	電子顕微鏡室開設、コンピュータセンターシステム増強
1991 平成 3 年	3 月	第 1 回卒業式挙行、第 1 期生 526 人が卒業
	6 月	初代児玉三夫学長に代わり、第 2 代鈴木辰三学長就任
	9 月	「エコー3 世号」台湾から回航
1992 平成 4 年	3 月	大学院 2 研究科 4 専攻各修士課程を設置認可

1993 平成 5 年	10 月	学校法人明星学苑 70 周年記念式典挙行
1994 平成 6 年	3 月	大学院 2 研究科 2 専攻に博士課程を設置認可
1995 平成 7 年	3 月	大学院英米文学専攻修士課程を設置認可、理工系館東館(現科学技術系館東館)竣工
	4 月	第 3 代澤田正三学長就任
	10 月	コンピューターシステムをインターネット対応に一新
1996 平成 8 年	4 月	荒井正大理事長就任
1997 平成 9 年	10 月	いわき明星大学創立 10 周年記念式典挙行
	11 月	いわき明星大学同窓会設立式典を挙行
1998 平成 10 年	3 月	ヨット「エコーⅡ 世号」退役に伴い学内展示
	4 月	ハイテクリサーチセンター開所
1999 平成 11 年	1 月	大学入試センター試験実施
	4 月	第 4 代寺田隆信学長就任
2000 平成 12 年	4 月	第 5 代斎藤和明理事長就任
	5 月	理工学部環境理学科、人文学部言語文化学科、心理学科の設置認可
2001 平成 13 年	4 月	理工学部環境理学科、人文学部言語文化学科、心理学科を設置
	6 月	人文系館別館(実験棟)竣工
	10 月	いわき明星大学父母会設立
2002 平成 14 年	9 月	ヨット「エコー3 世号」退役に伴い学内展示
2003 平成 15 年	2 月	厚生館リニューアル工事完成
	4 月	第 5 代高重正明学長就任
		ハイテクリサーチセンター、産学連携研究センターへ改組
2004 平成 16 年	4 月	高分解能分析電子顕微鏡センター、産学連携センターへ改組
	9 月	科学技術学部 生命環境学科、システムデザイン工学科、人文学部 表現文化学科、大学院人文学研究科 臨床心理学専攻修士課程 設置認可
2005 平成 17 年	3 月	地域交流館竣工
	4 月	科学技術学部 電子情報学科・システムデザイン工学科・生命環境学科 人文学部表現文化学科 大学院修士課程臨床心理学専攻を設置 心理相談センター開所 福島県立いわき光洋高等学校との高大連携開始
		5 月
2006 平成 18 年	4 月	(財)日本臨床心理士資格認定協会 1 種指定校認定 福島県立平工業高等学校との高大連携開始

	9月	中国・遼寧石油化工大学との学術交流訪問団派遣開始
	11月	薬学部薬学科 設置認可
2007 平成 19 年	3月	薬学部棟・学習センター・薬用植物園 竣工
	4月	薬学部薬学科を設置
	6月	陸上競技用グラウンドリニューアル。インフィールドを全面人工芝化
	10月	いわき明星大学創立 20 周年記念式典挙行
2008 平成 20 年	5月	中国・瀋陽薬科大学と国際学術交流に関する協定締結
	7月	第 6 代蔵多得三郎理事長就任
	10月	学校法人明星学苑 85 周年記念式典挙行
2009 平成 21 年	4月	第 6 代関口武司学長就任
		福島県立磐城農業高等学校との高大連携開始
2010 平成 22 年	4月	科学技術学部科学技術学科を設置
	6月	IMU ビジネスカレッジ開校
2011 平成 23 年	4月	ボランティアセンター設置
	6月	福島県立磐城桜が丘高等学校との高大連携開始
	7月	福島県立湯本高等学校との高大連携開始 「いわき復興祭@いわき明星大学」開催
	10月	復興事業センター設置
2012 平成 24 年	4月	福島県立いわき総合高等学校との高大連携開始
	11月	第 7 代吉田元一理事長就任
2013 平成 25 年	4月	第 7 代山崎洋次学長就任
	11月	双葉郡檜葉町との連携協力協定締結
2014 平成 26 年	6月	教養学部 地域教養学科 設置認可
2015 平成 27 年	4月	教養学部 地域教養学科 設置
		学修総合支援センター 設置
	7月	地域連携協議会設立
2016 平成 28 年	4月	学校法人いわき明星大学設立
		初代小川哲生理事長就任
2017 平成 29 年	4月	看護学部看護学科を設置
	11月	第2代新谷幸義理事長就任

■ポリシー

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

いわき明星大学は、その教育目標に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。
2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。
3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。
4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

いわき明星大学では、その教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

1. 大学での学修の意義を理解し、大学生としての学修に必要な基礎的能力や生活習慣を身につけることができるよう、初年次教育科目を配置します。
2. 幅広く多様な基礎的知識と基本的な学修能力を獲得するための全学共通カリキュラムとして、基礎科目、教養科目、健康・スポーツ科目の三つの科目群を設置します。
3. 各学部学科に専門教育科目を設置し、専門的な知識・技術や方法論を段階的・体系的に教授します。
4. 地域との連携のもと、課題解決型の授業を展開して、知識・技術の活用能力、コミュニケーション能力、課題探求力、判断力など、社会生活で必須となる能力を総合的に養います。
5. キャリア教育を行い、社会人としてのキャリアを積むために必要な知識と考え方を身につけるとともに、働くことを通して地域社会に貢献する意欲を育みます。
6. 身につけた知識や技術を統合し集大成するために、卒業研究を全学必修とし、丁寧な個別指導を行います。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

いわき明星大学は、その教育目標を理解するとともに、学ぶ意欲に溢れ、大学での専門教育を受けううえで基礎的な能力を身につけている人の入学を希望します。

教養学部の3つのポリシー

教養学部は、本学の教育理念たる「和」の精神に基づく全人教育を根本に据え、専門教育に裏づけられた確かな「基礎学力」および他者とのコミュニケーション能力や困難を乗り越える忍耐力を備えたうえで、自ら主体的に考え行動できる社会人・職業人となるために必要な「社会人基礎力」と「汎用的技能」を身につけた、これからの地域社会を支える中核的人材、すなわち「地域基盤型職業人」を養成することを目的としています。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

教養学部地域教養学科は、学部の教育目標に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。
2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。
3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。
4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。
5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

教養学部地域教養学科では、学部の教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

1. いわき明星大学および教養学部地域教養学科での学修の意義を理解し、学修目標を自ら設定できるように、初年次教育科目を設置します。
2. 日本語・英語・情報リテラシーの基本能力、および人文・社会・自然・健康にわたる基礎的知識をしっかりと身につけるための全学共通教育科目として、リテラシー教育科目、外国語教育科目、一般教養科目、健康・スポーツ教育科目の4つの科目群を設置します。
3. 専門性に裏づけられた基礎学力と幅広い教養を身につけるための教育システムとしてメジャー制を導入し、「国際コミュニケーション」「心理と人間行動」「地域と社会」の3つのメジャーと、「復興支援」「地域公共政策」「地域とビジネス」「ICT」「日本語・日本文化」「教職」の6つのサブメジャーを設置します。
4. 進路志向や能力に応じた適切なメジャーおよびサブメジャーの選択ができるように、1年次に基本科目を設置して、地域教養学科の学びの見取り図を与えます。

5. メジャー科目は1年後期から、サブメジャー科目は2年前期から（「教職」は1年後期から）の履修とし、4年次までにそれぞれの分野や領域の専門知識を段階的・体系的に修得できるよう、適切に科目を配置します。併せて、メジャーの専門性を軸に、その補完・補強となるサブメジャーを多様に組み合わせて履修できる、柔軟なカリキュラム編成とします。
6. 2年次、3年次にキャリアデザイン科目を配置し、社会人として必要な知識やスキル、考え方を確実に獲得するとともに、卒業後の進路を見据えたキャリアデザインを描き、働くことを通して地域社会に貢献する意欲を醸成する教育を行います。
7. 主体的な取組姿勢やコミュニケーション能力、課題探求力、判断力を養うために、2年次、3年次のゼミをはじめ、演習、実習、実験、調査、プロジェクト等、アクティブラーニングによる課題解決型の授業を多く展開します。
8. 4年次に卒業研究を置き、地域教養学科における学修で身につけた知識・技術・方法論を統合し集大成します。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

教養学部地域教養学科は、学部の教育目標を達成するために、以下のような人の入学を希望します。

1. 人間や社会にかかわる幅広い領域について自ら進んで学ぼうとする意欲のある人
2. 地域社会をめぐる多様な問題に関心を持ち、積極的にその解決に取り組もうとする人
3. 大学で学んだことを活かして地域社会で活躍し、地域社会の発展に貢献したい人
4. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調できるコミュニケーション能力を身につけたい人
5. 本学科での学修に必要な基礎的学力と理解力を身につけている人

薬学部の3つのポリシー

薬学部は、明星学苑の校訓「健康、真面目、努力」のもと、豊かな人間性を有し、地域の人々の健康を率先して守ることのできる自立した薬剤師を育成することを教育目的としています。一人ひとりの学生を大切にするとともに、チーム医療における教育を行い、医薬品の適正使用から患者への的確な服薬指導まで十分な対応ができるとともに、チーム医療の中で貢献できる、問題発見能力と問題解決能力のある質の高い薬剤師を育成し、地域社会に有為な人材を送り出すことを目指しています。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

薬学部薬学科は、学部の教育目標に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。
2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。
3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。
4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。
5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

薬学部薬学科では、学部の教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

独自の教育プログラムとして、“学生の潜在能力を自己力で点火する(ignite)”「イグナイト教育」とその発展形の「プレゼンテーション」を展開しています。「イグナイト教育」は、1～3年次までを3ステップで構成し、TBL (Team Based Learning) / PBL (Problem Based Learning) を含む能動的学習プログラムから成り、その学修成果として、これからの薬剤師に求められる豊かな人間性、コミュニケーション力、持続可能な主体的学習力の育成ならびに課題探求・問題解決能力の基盤形成を目指します。

1年次から4年次にわたる「イグナイト教育」ならびに「プレゼンテーション」は、下記に示す“連続的で一貫した専門教育”とあいまって、6年制薬学教育の目標の実現を可能にしています。

また、編入生に関しても、それぞれの学年の配当科目に加えて、「イグナイト教育1A・1B」（2年次編入生）、「プレゼンテーション」（4年次編入生）の修得を進級要件とします。

1. 1・2年次では、以下のような手厚い初年次教育や補習教育により、大学教育への速やかな導入を図り、入学早期から医療人を目指して自ら学んでいく自覚を養います。そのために以下の科目を設置します。

- 1) 生徒から学生への変容のための初年次教育として、「イグナイト教育 1A」
- 2) 高校から大学への橋渡しを目的とした「クラムスクール（学内塾）化学」や薬学教育において重要な物理、化学、生物の基礎学力補強を目的とした演習科目
- 3) 研究の基礎となる考え方や技術を学ぶことを目的とした実習科目「自然科学実習入門」
- 4) 薬剤師の職能の理解と動機づけのための「イグナイト教育 1B・2B（薬と仕事）」

2. 2・3・4年次では、専任教員によるきめ細やかな指導により、「薬学教育モデル・コアカリキュラム」に沿った専門知識・技能を修得し、さらにそれを応用して医療現場における問題を解決する能力、コミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力を醸成します。そのために以下の科目を設置します。

- 1) 薬剤師として必要な知識、技術、態度を身につけるための薬学専門講義と実習
- 2) 薬学専門科目から得られた知識と考え方を確かなものとし、問題解決に応用できる力を育成するための演習科目「ファーマドリル 1～4」
- 3) ヒューマンズと倫理観ならびにコミュニケーション能力を醸成するための「イグナイト教育 2A・3」
- 4) 薬剤師として必要な英語力を修得するための「薬学英语入門」「薬学英语」
- 5) プレゼンテーション能力の育成に加え、「知識を知恵に高める」ことを目指す「プレゼンテーション」
- 6) 地域の保健、医療、福祉の現状・問題点と災害時の薬剤師の行動規範について学ぶ「地域・災害医療学」

3. 4・5・6年次では、地域の病院や薬局と連携し医療現場で活躍できる薬剤師となるために、高度な問題解決能力を修得するための知識と判断力の定着を図ります。そのために以下の科目を設置します。

- 1) 医療現場における実践力養成のための「プレ実務実習」「病院実習」「薬局実習」
- 2) 修得した各科目の知識を統括し、医療現場における問題解決に向けて知識を総合的に活用するための「薬学要説」ならびに演習科目「ファーマドリル 5、ファイナル」
- 3) 判断力と問題発見・問題解決能力を育成し確かなものにするための「卒業研究 A・B」

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

薬学部薬学科は、学部の教育目標を達成するために、以下のような人の入学を希望します。

1. 薬剤師になりたい人
2. 病院や薬局でチーム医療や地域医療に貢献したい人
3. 思いやりと協調性を持って他人と接することができる人
4. 薬学を学ぶにあたって、化学、生物、物理、数学および英語の基礎的能力を身につけている人

看護学部の3つのポリシー

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

看護学部看護学科は、学部の教育目標に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。
2. EBN（Evidence Based Nursing：根拠に基づいた看護）に基づき、自律的に看護を実践することができる。
3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。
4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。
5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

看護学部看護学科では、学部の教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

1. 1年次に、全学共通教育科目の初年次教育科目とリテラシー教育科目を配置し、速やかな大学教育への導入を図り、看護職を目指して主体的に学んでいく自覚を育むとともに、社会人基礎力を涵養する。（DP5に対応）

2. 1年次から4年次に、全学共通教育科目の一般教養科目、外国語科目、健康・スポーツ科目を配置し、看護の担い手としてふさわしい広い視野と豊かな教養を身につける。(DP1に対応)
3. 専門教育科目として、1, 2年次を中心に専門基礎分野を配置し、必要な基本的知識を修得する。(DP5に対応)
4. 専門教育科目の専門分野と統合分野については、基礎看護学・精神看護学・成人看護学・母性看護学・小児看護学・老年看護学・在宅看護学の各分野の科目を、ライフサイクルや学修の深度に基づいて、【看護実践基盤学科目】【生涯発達看護学科目】【健康生活看護学科目】【地域養生看護学科目】の4つの学修カテゴリと【看護の統合と実践科目】に再構築する。
なお、4つの学修カテゴリにおいて学修し、身につける力は以下のとおりである。

○ 1年次から2年次に【看護実践基盤学科目】を置く。人間を心身一如の存在としてとらえ、基礎・精神・成人看護学を連関させた観点から、内容的には看護学基礎における基本的援助技術、社会的個人としての人に関わるための方法、ならびに看護的・科学的思考プロセスについて、統合的に学修する。将来看護職に就くためのアーリー・エクスポージャーの位置づけである。(DP1・2・5に対応)

○ 1年次後期に【生涯発達看護学科目】を置く。【生涯発達看護学科目】では、ライフサイクルの観点から、成人・母性・小児・老年それぞれの成長・発達段階の特徴とそれに伴う健康特性および健康課題について理解を深めるとともに、各発達段階に適した健康支援方法について学修する。(DP2・3・5に対応)

○ 1年次後期・2年次前期に【健康生活看護学科目】(導入科目群)を置き、精神・成人・母性・小児・老年看護学への導入を図る。内容的には各分野の概論であるが、人間の心身の健康・生活に関わる相互の連関した科目である。(DP2・5に対応)

○ 2年次後期に、【健康生活看護学科目】(発展科目群)を置く。【健康生活看護学科目】(導入科目群)での各分野の概論、および【生涯発達看護学科目】でのライフサイクルの立体的理解を基盤として、各発達段階において健康障害が起きるメカニズムや特徴的な健康障害について学修するとともに、科学的思考に基づいて看護課題を把握する方法や課題解決に資する理論・援助技術について学修する。(DP2・5に対応)

○ 3年次には、【健康生活看護学科目】(臨地実習科目群)を置く。1, 2年次に修得した知識をもとに、精神・成人・母性・小児・老年と一連の臨地実習を行い、自律的な看護実践能力、および多職種と連携・協働する能力を養う。(DP2・3・4・5に対応)

○ 2, 3年次には【健康生活看護学科目】と並行して、【地域養生看護学科目】を学修する。
【健康生活看護学科目】で修得する知識・技能に基づき、居宅あるいは療養施設等、生活する
場所に応じた看護課題の把握方法について学ぶとともに、課題解決のための支援や、地域コミ
ュニティ、行政組織との関わり方について学修する。(DP3・4に対応)

○ 3, 4年次に、【看護の統合と実践科目】を配置し、看護に関わる今日的なトピックスや地
域特性を踏まえた課題の学修をとおして、これまで修得した看護学の知識・技能の統合を図
る。(DP4に対応)

○ 3年次に「看護研究」を、4年次に「卒業研究」を配置し、将来にわたり自己研鑽を継続
し、看護実践のための専門性を発展させ、自発的な能力開発を継続する能力や、学士課程教育
レベルとしての基礎的な研究能力を育成する。(DP5に対応)

5. 3, 4年次に、保健師国家資格取得希望者(定員20人/選択制)を対象に、保健師養成科目を
配置する。(DP4に対応)

アドミッションポリシー(入学者受け入れの方針)

看護学部看護学科は、学部の教育目標を達成するために、以下のような人の入学を希望します。

1. 心身ともに健全である人
2. 思いやりと協調性をもって他者と接することができる人
3. ものごとに積極的に誠実に取り組む姿勢が身についている人
4. 看護学を学ぶにあたって必要な基礎的能力を身につけている人

人文学部の3つのポリシー

人文学部は、本学の教育理念たる「和」の精神に基づく全人教育および人文科学の目的であるヒューマニズム精神の涵養を旨とし、今日、真に求められるべき人間性とは何かについて、3学科が文化、社会、個人のそれぞれの観点から探求することを目的としています。一人ひとりの学生を大切にす手塩にかける教育を行い、文化、社会、人間への洞察力を養うとともに、それらに働きかける方法と意欲を身につけさせること、さらに教育・福祉・心理等の専門職に必要な資格を取得させることを教育目標とし、地域社会の発展と安心に貢献できる職業人を育成します。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

人文学部は、その教育目標に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 現代におけるさまざまな物事や問題を人文学の方法論を用いて探求し、説明することができる。
2. 人文学の諸分野における知識に基づき、目先の物事だけにとらわれず、さまざまな思考の枠組みで広い視野に立って物事をとらえ、実践的に考えることができる。
3. 実社会において、あらゆる場面に対応しうるコミュニケーション能力とさまざまな状況に応じた自己表現能力を発揮することができる。
4. 自ら問いを立て、それに答えていく力を有することで、自己の生き方の可能性を広げることができる。
5. 教員免許（中学校：国語・英語・社会、高等学校：国語・英語・地理・歴史・公民）や図書館司書、学芸員、社会福祉士、精神保健福祉士等の資格取得支援を活用してキャリア設計をすることができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人文学部では、その教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

1. 1・2年次において、少人数制の基礎演習と学科基礎教育科目の学修を通して人文学全般にわたる知識と思考方法を修得させます。
2. 専門課程では、人間性とは何かについて、三学科が文化・社会・心理のそれぞれの観点から探求し、人間や社会への洞察力を深め、他者に対し自分の考えを明確に表明するコミュニケーション能力と社会性を身につけさせます。
3. 4年間の学修成果である卒業研究を一つのプロジェクトとしてとらえ、教員による徹底した指

導の下、学生自らに目標の達成に向けて意欲的に取り組ませます。

4. 教育・福祉・心理等の専門職に必要な資格取得も視野に置き、地域社会の発展に貢献できる職業人としての資質と自覚を養います。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

人文学部は、その教育目標を達成するために、以下のような人の入学を希望します。

1. 高校の主要教科について基礎的な知識を有し、世界の仕組みや成り立ちを考えたい人
2. 多面的な人間の営みについて共感を持ちつつ幅広く考察し、論理的に判断することができる人
3. ヒューマンイズムの精神を大切にし、現代社会が抱えるさまざまな問題に対して積極的に取り組む意志を持っている人
4. 激動する現代社会でたくましく生きていく力を、多様な学問分野を通して身につけたい人

人文学部表現文化学科の3つのポリシー

人文学部表現文化学科では、多様な表現文化を学ぶことを通して、自己を確立し、積極的に発信することができる人材、すなわち、今日の地域社会の要請に適った人文系職業人を養成することを目標としています。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

人文学部表現文化学科は、その教育目標に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 日本や世界の文学・文化について豊かな知識を身につけ、それらを「表現」の観点から理解することができる。
2. 人間や文化について多面的、論理的に考え、自らのメッセージを発信することができる。
3. 人間や文化に対して深い関心を持ち、主体的、継続的に探究しようとする意欲を示すことができる。
4. 大学で学んだことを活用して、地域社会に貢献しようとする態度を示すことができる。
5. 論述、発表、討論などにおいて、日本語を的確かつ効果的に使用することができる。
6. 言語や映像を通して自分自身を表現することができる。
7. 少なくとも一つの外国語で基礎的なコミュニケーションを行うことができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人文学部表現文化学科では、その教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

1～4年次を通して、「読み、考え、書く」能力を実践的に鍛錬しつつ、「文学・言語」「映像・表現」「英語コミュニケーション」の3つの選択科目群からなる専門教育を実施します。

3つの学問分野はそれぞれ、表現における発信者としての「自己」、読解対象としての「他者」、および読解に基づく発信（自己表現）の「技法」を中心的なコンセプトとして体系化されています。学生一人ひとりの関心とニーズに応じて柔軟な履修ができるよう、すべて選択科目とします。

同時に、表現文化学科のすべての学生に必須の「読み、考え、書く」能力を実践的・段階的に鍛錬する目的で、必修科目として4年間にわたり少人数クラスの演習科目を設置します。

1. 1年次では、大学での学びと専門教育とへの導入を図り、基礎的な知識・技能を幅広く身につけます。一般的なカレッジスキルの修得をめざす演習科目「表現文化基礎演習Ⅰ」と、三つの学問分野に展開する多様な表現世界の「見取り図」を示し、学生の「選択」への指針・指標を提示する「表現の諸相」をコアとして設定します。

2. 2年次では、専門的研究への橋渡しを図ります。「プレゼミ」と称される「表現文化基礎演習 II」により、3つの学問分野のいずれかに傾斜して、3～4年次の専門的研究のためのゼミへ導入するとともに、3つの学問分野それぞれの専門的研究への足掛かりを得させる科目を開設します。
3. 3～4年次では、「専門ゼミ」と称される「表現文化演習 I」（3年次）と「表現文化演習 II」（4年次）、および「卒業研究」（4年次）を通して、自ら問題を設定する力や問題の解決方法を見いだす力、さらには自己表現能力の、高度の研鑽を図ります。
4. 1～3年次では、幅広い視野に立ったキャリアデザイン力と職業意識を身につけさせるため、資格取得に繋がる科目、および翻訳・編集・広告コピー・映像制作等の多様な表現の技法を修得する演習科目を開設するとともに、3年次には「インターンシップ」を設置します。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

人文学部表現文化学科は、その教育目標を達成するために、以下のような人の入学を希望します。

1. 表現文化学科で学ぶにあたって基本となる「国語」「外国語」を履修し、それらの基礎的事項を理解している人
2. 物事を論理的にとらえ、判断する能力を備えている人
3. 日本や外国の言語・文学・文化、文章表現・映像表現に対する興味関心を持っている人
4. 国語・英語の教員、日本語教員、図書館司書などの仕事に就きたい人
5. 日本語による正確で論理的な表現技術の基礎を身につけたい人
6. 課外活動を通じて、広範な知識や関心などを養ってきている人

人文学部現代社会学科の3つのポリシー

人文学部現代社会学科では、現代社会の理解と地域社会への貢献を目標に掲げ、社会の変化に対応できる柔軟な思考力と行動力・実践力とを合わせ持つ、地域社会に有為な職業人を育成することを目指しています。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

人文学部現代社会学科は、その教育目標に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 地域社会の問題を身近なものとして捉え、その解決に積極的に取り組むことができる。
2. 地域の人びととコミュニケーションを図りつつ率先して行動し、課題の実現に向けてたゆまず努力することができる。
3. 社会学理論の基礎知識を修得し、過去から現代までに至る社会問題について自らの見解を形成することができる。
4. 人びとの多様なニーズを理解し、社会や人間に関する幅広い視野からそれを満たすための方向性を示すことができる。
5. 社会調査に関する基礎知識を修得し、それらを地域社会における問題の発見に応用することができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人文学部現代社会学科では、その教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

1. 1年次では、地域社会で発生している問題の背景を理解し、分析する方法を学ぶ科目を開設します。加えて、1年次前期の必修科目である「社会学基礎演習」では、少人数クラスにより、「読む、書く、話す、調べる、まとめる」などのリテラシー教育を行い、大学での学習環境への円滑な適応を支援します。
2. 2・3年次では、社会調査に必要な基礎的な知識や技法を身につける科目を設定します。3年次の実習では、質問票調査にグループ単位で取り組み、地域社会の現状把握や問題分析の方法を実践的に修得します。
3. 3・4年次では、実習、インターンシップなどの体験学習を通じて、それまでに学んだ知識や技術の向上を図るとともに、職業人としての意識を涵養します。さらに、各自が得た知識・技術・体験を地域社会にフィードバックする具体的な活動の基礎として、少人数参加型のゼミを設置します。

4. 地域社会への貢献を実践する科目を設置します。災害被災地や豪雪地域をはじめ支援の手を必要とする中山間地域での清掃や除雪などの生活支援活動を通じ、地域支援のあり方についての理解力や行動力の向上を図ります。
5. すべての学生は、4年間の学びの集大成として卒業研究に取り組みます。各自の興味や関心のあるテーマについて、それまで学び、身につけた知識や研究方法を駆使し、学術的な論文として結実するようにゼミ担当教員が丁寧な個別指導を行います。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

人文学部現代社会学科は、その教育目標を達成するために、以下のような人の入学を希望します。

1. ボランティア活動や実習などの体験型学習を通じ、他者と協力して課題に取り組むことができるコミュニケーション力の習得・向上を目指したい人
2. 福祉に関する専門的な知識や技術を身につけ、誰もが暮らしやすい地域社会の実現に貢献したい人
3. 質問票調査などの社会調査の技法を学び、地域社会の変化をより広い視野から解決したい人
4. 地域社会の問題に関心を持ち、官庁や企業、NPO法人などで、その解決策の決定に関わる仕事に就きたい人

人文学部心理学科の3つのポリシー

人文学部心理学科では、トータルな人間理解を目標に掲げ、地域社会に貢献できる、人の心のわかる職業人の育成、ならびに臨床心理士をはじめとするより高度な専門職業人教育を受けるに足る、幅広い基礎知識を身につけた人材の育成を目指して、以下のような点に主眼の置いた教育を行います。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

人文学部心理学科は、その教育目標に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 人間に対し豊かで幅広い見方ができる。
2. 自然科学的教養と人文科学的教養の両方を身につけている。
3. 科学的手法に基づきデータを収集し分析できる。
4. コミュニケーション能力と共感的理解の能力を身につけている。
5. 自立した社会人としての態度と行動力を身につけている。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人文学部心理学科では、その教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

以下のような2段階で、4年間の教育を行います。多様な選択科目を用意し、学生個人の関心やニーズに応じた柔軟な科目履修ができるように配慮します。

1. 1年次では、導入教育として「心理学科基礎演習」を設置し、高校から大学へのスムーズな移行を図ります。また、1・2年次では、各種の「心理学基礎論」「心理学基礎実験」等を通して、心理学の諸分野をバランスよく学びます。
2. 3年次では、3つのコース（認知情報、教育発達、臨床福祉）に分かれ、各コースの専門性に合わせた「心理学演習」や様々な専門科目を学びます。4年次では、自己の選んだテーマに基づいた研究（卒業研究）を行い、4年間の学修をまとめます。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

人文学部心理学科は、その教育目標を達成するために、以下のような人の入学を希望します。

1. 国語と英語を履修し、それらの基礎的事項を理解している人
2. 基本的なコミュニケーション力を身につけている人
3. 人間や社会・文化に対する強い関心を持っている人
4. 思考・意欲の両面で積極的な人
5. 柔軟な発想ができる人
6. 集団の中で自己を活かすことができる人

理工学研究科の3つのポリシー

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

1. び問題解決に向けての指導力を養う。（思考・判断）

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

理工学研究科では、時代と地域社会の要請に対応できる専門的な研究者・技術者を養成するために、「専門基礎科目（必修）」、「専門選択科目」、「特別研究および研究講読」からなる教育課程を体系的に編成している。以下に本研究科の教育課程の概要を示す。

1. 専門基礎科目として、物質理学と物理工学の両専攻共通6科目「有機化学特論」、「生化学特論」、「化学計測特論」、「電子物理学特論」、「理数工学特論」、「力学特論」から2科目を選択必修として大学院における専門基礎教育を行う。[ディプロマポリシー 1)・2) に対応]
2. 物質理学の専門分野では、「物理化学」、「生命科学」、「物質構造」をキーワードにした専門選択科目を開講する。[ディプロマポリシー 3) に対応]
3. 物理工学の専門分野では、「情報学」、「電子工学」、「機械工学」、「材料工学」をキーワードにした専門分野を開講する。[ディプロマポリシー 4) に対応]
4. 各専攻において、「特別研究Ⅰ・Ⅱ」、「研究講読Ⅰ・Ⅱ」を通して実践的な能力を養い、問題解決能力やコミュニケーション力を身につけさせる。[ディプロマポリシー 5)・6) に対応]
5. 指導教員のもとで大学院生個々の研究テーマに沿った研究分野の調査、研究計画の作成と実施、さらには研究報告・論文作成を行うことで、より深い学識と優れた研究開発能力を身につけさせる。[ディプロマポリシー 5)・6) に対応]

理工学研究科では、時代と地域社会の要請に対応できる研究・技術者の養成を目標に、(1) 専門基礎科目必修科目、(2) 専門選択科目、(3) 特別研究および特別講読からなる教育課程を体系的に編成し提供している。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

理工学研究科のディプロマポリシーを達成するために、以下のアドミッションポリシーを明示している。

1. 本学の教育目標である「和」の精神に基づく全人教育、および地域社会への貢献を十分に理解できる人
2. 理学・工学・生命科学の最先端分野の研究開発に強い関心を持つ人
3. 明確な進学意識を持ち、研究開発に積極的に取り組む意欲のある人
4. 理工学分野、あるいは生命科学分野の高度な専門知識と問題解決力を身につけ、継続してキャリアの向上を目指す社会人

人文学研究科の3つのポリシー

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

1. 認知的領域（知識・理解）
人間におけるさまざまな物事や問題を、各専門分野の方法論を用いて探求し研究できる。
2. 認知的領域（思考・判断）
各専門分野の知識を深めるとともに、幅広い教養を持ち、さまざまな思考の枠組みを用いて、実践的に研究することができる。
3. 精神運動的領域（技能・表現）
実社会のあらゆる場面に対応しうるコミュニケーション能力を持ち、状況に応じた高度の自己表現ができる。
4. 情意的領域（関心・意欲・態度）
自ら問いを立て、それに答えていく研究能力を持ち、積極的に活動できる。
5. 精神運動的領域（技能・表現） 各自の研究成果を、修士学位論文または博士学位論文の形にまとめ上げることができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 認知的領域（知識・理解）
各専門分野の講義・演習・実習科目を設置し、それぞれの分野での知識と研究能力の向上を図る。
2. 精神運動的領域（技能・表現）
 - (1) 演習・実習科目の履修を通して、各専門分野での討論・研究発表能力の向上を図る。
 - (2) 修士課程2年次では、各分野の専門科目を履修し、修了するために必要な所定の単位を修得する。さらに、指導教授の指導の下に修士学位論文を作成する。
 - (3) 博士課程では、各自の研究テーマに基づく博士学位論文の作成という目標を設定し、その達成に向けて自主的・意欲的に研究に取り組めるような指導教員による指導体制を構築する。
3. 情意的領域（意欲・関心・態度）
各専門分野での研究・教育を通して、高度な専門知識を持った職業人および研究者を養成し、地域社会の発展に貢献する。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

1. 認知的領域（知識・理解）

(1) 修士課程は、日本文学、英米文学、社会学、臨床心理学の各分野での学部教育を基礎として、高度な専門知識や技術を身につけ、社会に貢献したい人

(2) 博士課程は、日本文学に関するより高度な専門知識や技術を身につけ、社会に貢献したい人

2. 情意的領域（関心・意欲・態度）

(1) 日本文学、英米文学、社会学の各分野の専修教員免許状を取得し、教職に就くことを希望する人

(2) 財団法人日本臨床心理士資格認定協会の認定する「臨床心理士」受験資格の取得を希望する人

(3) 博士（日本文学）の学位を取得し、専門的な教育・研究を行うことを希望する人

2. 平成 29 年度巻頭 TOPICS

■学長メッセージ

いわき明星大学は 1987 年いわき市からの誘致をうけて学校法人「明星学苑」が開学し、明星学苑の校訓である「健康・真面目・努力」に基づいて、地域に貢献する大学として教育研究を行うことを使命・目標としてきました。本学は人文社会科学系、理工学系、生命科学系、薬学系の教員が揃い、この点を活用した多様性に富んだ肌理の細かい教育によって、地域に貢献できる人材の養成を行っています。

2017 年 4 月から、看護学部が設置され、教養学部、薬学部、看護学部の 3 学部体制の大学になりました。教養学部は、人文学部を改組転換し、地域の求める要望や需要にさらに適合した学部組織・教育課程と成るべく 2015 年に開設された学部です。また 2007 年に発足した薬学部は今春 5 回目の卒業生を送り出しました。薬剤師国家試験合格率は全国的にみても高い水準にあり、初年次からの一貫した本学独自の薬学教育の成果が表れています。

また 2015 年 9 月には、法人機能の即応性、即時性を高めるために新学校法人「いわき明星大学」の設置する大学へ移行いたしました。今後とも「明星学苑」との提携は保たれますが、文字通りいわき市に根ざした大学として地域の高等教育・研究機関として人材養成に努力してまいります。

グローカリゼーションという言葉があります。この言葉はグローバル化（世界普遍化）と地域の特色や特性を考慮するローカリゼーション（地域限定化）の二つの単語を組み合わせたものです。本学では、地域の要請に応え得る人材として、グローバルな視点や考え方を身につけて、それを地域に活用、還元できる「グローバルな人材」の養成をめざしています。

「グローバルな人材」の養成こそが新しい教養学部設置の精神であり、教育方針です。学科名称もその教育内容にふさわしい地域教養学科となっています。薬学部も同じく、地域に貢献できるくすりの専門家を引き続いて育てていきます。看護学部は、いわき市を中心とする地域の医療・保健機関と協力して高度な看護力を備えた実践力のある看護師・保健師の養成の一翼を担ってまいります。

これ等の人材養成、本学では地域基盤型職業人と呼んでいますが、地域基盤型職業人養成の目的を達成するため、教職員は本学入学をめざす皆さんの強力なサポーターであるとともに良きパートナーとして力を尽くしたいと思っています。

教育とは学生や生徒が好ましい変化をうけることができる邂逅（めぐりあい）でなければなりません。好ましい変化とは、個々によっても異なり一口で表すことは難しいものですが、少なくとも、入学される皆さんが、いわき明星大学で学んだことによってそれぞれの夢や希望がかなえられ、社会人として自立できるものと信じています。

いわき明星大学 学長 医学博士 山崎 洋次

■看護学部看護学科開設

平成 29 年 4 月、看護学部看護学科を開設し、86 人の入学者を迎えました。

看護学部では、幅広い教養と豊かな人間性を養い、看護職として必要とされる基本的な知識・技能・態度に基づいた看護実践能力を修得するとともに、将来にわたり看護の向上に資するための能力を養い（すなわち ESD: Education for Sustainable Development を実践し）、人々の健康の保持増進に寄与することのできる人材を養成します。

また、看護師の養成に加えて、保健福祉活動や保健予防活動を通じて地域社会の保健医療福祉の向上に寄与することのできる保健師も養成します。健康課題を生活者の視点でとらえ、いわき市保健所や地域包括支援センター、県設置の保健所、周辺自治体での多職種連携を通じて展開される保健活動について理解し、地域で生活している個人・家族・集団・地域を対象とした健康の維持・増進活動を展開することのできる人材を養成します。

看護学部関係の施設は、6 号館北棟を改修し、90 人を収容する講義室 2 室のほか、それぞれの看護の領域の実習室 4 室、カンファレンス室 6 室、学部長室、学部事務室、男女ロッカー室等を整備しました。

教員組織は、30 名の教授、准教授、講師、助教合計 30 名体制となっており、各領域において教育や研究の実績のある教員を配置しました。

校内での実習のほか、市内 9 病院、23 施設、市外の 1 病院、2 施設を実習施設として隣地実習を実施します。

看護学部の卒業後は、病院、診療所、訪問看護ステーション、保健所・保健センターでの活躍を想定しております。

■健康医療科学部設置認可申請

平成 31 年 4 月の開設を目指し、平成 30 年 3 月に健康医療科学部の設置認可を文部科学省に申請しました。

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災および福島第一原子力発電所事故後、福島県内の人口は、予想外に減少しました。

平成 22 年および平成 27 年の国勢調査の結果を比較すると、平成 27 年の人口は、女性が 96 万 8,639 人で前回から 7 万 5,743 人（7.3%）減、男性は 94 万 4,967 人で同 3 万 9,715 人（4.0%）減と、予想外の人口減少が発生している。また、建物が津波被害を受けず、原発から 20 キロ圏外にあるにもかかわらず、7 病院の医療従事者数は、震災前の 1272 人から 595 人に減少しました。減少割合・数は看護師が 52%で 321 人減、他医療スタッフは 43%で 85 人減です。この事態に加えて、福島県の高齢化率は全国平均を 2.2 ポイント上回る 29.5%であり、今後も全国平均を上回る高齢化率が続くことが予測されます。

これに加えて、4 年制大学における作業療法士・理学療法士の養成機関の設置状況を東北 6 県で比較すると、宮城県では 2 機関、山形県 1 機関、新潟県 2 機関、栃木県 1 機関、茨城県 3 機関が設

置され、医療技術職養成の4年制大学教育が実施されているのに対して、福島県では、平成30年3月現在、作業療法士、理学療法士養成を行う機関は専門学校1校のみであり、4年制大学がない状況です。また、4年制大学による作業療法士養成の入学定員は、宮城県100人、山形県20人、新潟県80人、栃木県80人、茨城県40人、および理学療法士養成の入学定員は、宮城県120人、山形県20人、新潟県120人、栃木県80人、茨城県130人である。このことから、福島県内における医療技術職養成の4年制大学が不足していることは明らかです。福島県内における医療技術職養成に係る高等教育機関の整備水準は近県と比して最も低く、大学の目的に沿った医療技術職の質的向上を目指すべく、健康医療科学部作業療法学科、理学療法学科を設置することといたしました。

本学の健康医療科学部では、本学の教育目標「全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人の育成」に基づき、地域で生活するあらゆる世代の人々がその人らしく、健康を維持・増進しながら、必要に応じて効果的な医療サービスを受け、可能な限り自立した生活ができるよう、健康から疾病の回復に至るまで連続的な視点で捉え、科学的根拠に裏づけされた専門的知識・技術を備えた専門職者（Evidence-Based Practitioner）を育成します。さらに、高齢化が進む地域医療等の現場において、住民の真の声に耳を傾けきめ細かな地域ニーズを調査できる人材、また、課題解決に向けた具体的な計画を立案し、着実に実施できる人材を育成します。

■創立30周年記念式典・講演会の実施

創立30周年を迎え、「いわき明星大学創立30周年記念式典」を実施し、本学の関係者約1,400名の出席を得られました。

また、元文部科学副大臣で、本法人の理事でもある池坊保子先生により「二十一世紀を生きる若者たちへ」と題して記念講演が行われました。講演の内容は学生、及び式典参加者に深く刻まれ、記念式典は、大盛況の中、終えることができました。

■寄付金募集の実施（平成29年5月～平成30年3月）

創立30周年を迎え、寄付金を募集し、77法人から18,830,000円、404人から15,888,446円、合計34,718,446円（平成29年4月30日現在）の協力を得られました。寄付金については、今後、いわき明星大学の発展に資する用途を検討することとしています。

■30周年誌発行（平成29年11月発行）

いわき明星大学創立30周年記念誌「光跡～未来につなげる光の軌跡」を発行しました。記念誌には、昭和62（1987）年のいわき明星大学開学から、平成28（2016）年までの沿革、学部学科の変遷、本学の各種データが記載されています。

■薬剤師国家試験結果 合格率全国3位！

第103回薬剤師国家試験において、全国平均合格率70.58%（13,579名受験：9,584名合格）に対し、本学の合格率は92.31%（39名受験：36名合格）で、全国（国・公・私立）73校中3位でした。この結果、本学出身の薬剤師は294名となりました。

■本学吹奏楽団が「全日本吹奏楽コンクール」（全国大会）に2年連続出場

10月28日（土）、岡山県の倉敷市民会館で開催され、本学吹奏楽団は、東北代表として昨年に引き続き2年連続（2回目）出場しました。

コンクールには、全国各ブロックを勝ち抜いた13大学が出場し、本学は出場校中最少人数の39名で、課題曲Ⅳマーチ「春風の通り道」、自由曲はバッハの「幻想曲とフーガ ハ短調」を演奏し、銅賞を受賞しました。

3. 地域連携活動

■企業との包括連携協定を締結

企業との包括連携協定の締結が進められました。平成29年4月3日には常磐興産株式会社と、6月13日には株式会社福島民報社との連携協定締結式をそれぞれ本学にて開催し、産学連携を通じて地域貢献に寄与する抱負が述べられました。

常磐興産株式会社とは、各々が緊密な協力と信頼関係のもとに幅広い分野で相互に協力・連携し、互いに有する資源や機能等の効果的な活用を図りながら、地域社会の進行と発展、人材の育成に寄与することを目的としています。連携の内容については次の通りです。

- (1) 地方創生、産業振興等の地域の課題に関する事
- (2) スポーツや文化活動を通じた地域社会の活性化に向けた取組みに関する事
- (3) 人材の交流や施設の利用等に関する事
- (4) 産学連携による教育プログラムの共同策定に向けた取組みに関する事
- (5) 長期インターンシップ等の現地学習に関する事
- (6) その他本協定の目的を達成するために必要な事項

また、福島民報社とは、社会への興味関心を持ち、地域社会の未来を切り開く人材育成の推進を目的とした連携で、次の内容を掲げています。

- (1) 新聞等を活用したキャリア教育の支援に関する事
- (2) 地域課題等に関する共同調査及び研究に関する事
- (3) 人材交流及びインターンシップの実施に関する事
- (4) 教育研究のための新聞記事情報の活用支援に関する事
- (5) その他本協定の目的を達するために必要な事項

■新入社員合同研修会を開催

いわき明星大学地域連携協議会が主催する新入社員合同研修会を、4月5日（水）・6日（木）の2

日間、本学キャンパスにて行いました。これは2015年に発足した「いわき明星大学地域連携協議会」の事業の一環で、各企業で行う新人研修の負担を軽減するとともに、大学の教育資源を地域に還元するための企画です。今回で2回目の開催となり、12企業37名の方々が参加されました。

研修会では教養学部・田中美和准教授が講師を務め、ビジネスシーンのロールプレイングなどを通して、マナーや言葉遣いなどの修得に加え、組織活動への意識付けを行いました。異業種間の交流は、今後の仕事への取り組み方にも効果をもたらすことが期待されます。

■「福島の進路」に本学教員が寄稿

一般社団法人 とうほう地域総合研究所が発行する機関誌「福島の進路」に、1年間のリレー形式で本学教員が各々の研究内容について寄稿し、「私の研究」というテーマで連載されました。掲載紙および内容について次の通りです。

- 2017年4月号 No. 416 「連載にあたって」 学長 山崎洋次
「脂質を標的としたペプチド創薬研究」 薬学部 助教 佐藤陽
- 2017年5月号 No. 417 「漢方薬はなぜ効くの？」 薬学部 教授 松本司
- 2017年6月号 No. 418 「傷ついたDNAをなおす」 薬学部 准教授 角田大
- 2017年7月号 No. 419 「低酸素応答性転写因子 HIF- α に作用するがん分子標的治療薬の探索」
薬学部 教授 金容必
- 2017年8月号 No. 420 「新たな抗生物質を探して」 薬学部 教授 梅村一之
- 2017年9月号 No. 421 「いきものの不思議をしらべる」
大学院物質理学専攻 教授 岩田恵理
- 2017年10月号 No. 422 「前庭三半規管の心理学」 教養学部 教授 末次晃
- 2017年11月号 No. 423 「方言の研究」 教養学部 教授 玉懸元
- 2017年12月号 No. 424 「戦略×人材育成×リーダーシップ開発」
教養学部 教授 大嶋淳俊
- 2018年1月号 No. 425 「地域社会と地域コミュニティの研究」
教養学部 准教授 高木竜輔
- 2018年2月号 No. 426 「ストレス対処法としての誘導イメージ法、マインドフルネス」
看護学部 教授 黒田真理子
- 2018年3月号 No. 427 「自閉症児への医療と教育」 看護学部 教授 レンデンマン美智子

■「福島の進路」に本学教員が寄稿

平成29年度地域連携協議会総会を7月12日、いわき市小名浜のカルチェ・ド・シャンブリアンで開催しました。総会にはいわき市長の清水敏男様をはじめ、多くのご来賓、会員の皆さまにお集まりいただき、昨年度の事業および決算報告、今年度の事業計画と収支予算案についての承認をいただきました。

第二部の情報交換会では教育部会から「高校との連携プログラムの取り組み」としてアクティブラーニングを取り入れた連携事業について、参加した学生からの話を交えながら紹介。続いて産業部会から「地域企業の中核人材育成に向けた取り組み」と題し、昨年度実施した若手リーダー育成塾の

参加者と共に振り返りと今後の展開についてお話しさせていただきました。

■震災メモリアル事業をいわき市から受託

いわき明星大学では、東日本大震災の発生以降、いち早く震災記録の収集・保存活動を続けてきました。いわき市でも震災の記録を後世に伝える学習施設を建設する事業が予定されていますが、本学が行ってきた活動の実績やノウハウを活かすため、いわき市の委託事業として震災メモリアルに関する事業を受託いたしました。

平成 29 年度は市内に残存する震災記録の調査および展示協力の許諾、展示内容の選定に関する活動を行いました。いわき市では平成 31 年度、津波被害の大きかった豊間地区に「震災メモリアル拠点（仮称）」を建設する準備を進めており、展示・収蔵する資料の調査・収集を平成 30 年度まで本学が担う計画です。

■地域住民の皆さまとの意見交換会を実施

地域住民の皆さまとの意見交換会を 9 月 19 日、本学で開催いたしました。

この会議はいわき市内各地域の課題を抽出し、大学の持つ教育リソースの利用や学生の参画による地域振興を目的として開催されたもので、市内 13 地域のまちづくり団体の代表者にお集まりいただいたもので、これほど広範囲にわたる意見交換会はかつて例がなく、市役所の関係者のご協力もいただき意見交換が行われました。

本学の位置するいわき市は広い面積を持つことが特徴と魅力のひとつですが、一方で地域ごとに抱える課題も多岐にわたっています。会議ではさまざまな地域課題や大学に対する要望等を数多く伺うことができ、また地域同士の交流も見られました。

今後、今回お話しいただいた事項をきっかけとして、地域の皆さまと協働して地域の振興に寄与する活動を続けていきます。

■地域連携協議会産業部会 情報交換会を開催

いわき明星大学地域連携協議会の産業部会情報交換会を 12 月 8 日に本学で開催いたしました。

今回のテーマは「組織の強みを担う人材を育成する仕組みについて」。サッカーチーム「いわき FC」を擁する（株）いわきスポーツクラブ代表取締役の大倉智様、（株）東邦銀行から人事部副部長の菊田真司様、本学薬学部から元福島労災病院薬剤部長の渡邊義久教授、看護学部から元山梨大学医学部付属病院副病院長・看護部長の鈴木久美子講師の 4 名をパネラーに迎え、本学地域連携センター長、山口憲二教授の進行で、業種を超えたコア人材の確保と育成についてパネルディスカッションを実施しました。

さまざまな業種の皆さまにお集まりいただいた会でしたが、異業種におけるコーチングの考え方などを知ることができた内容として高い評価をいただきました。

■いわき市「まち・ひと・しごと」創生推進事業を受託

いわき市の委託研究事業として行われている、大学等と地域の連携した「まち・ひと・しごと」創生推進事業の成果発表会が 3 月 3 日、いわき市生涯学習センターで開催され、本学の研究成果を

発表しました。

本学が提案した研究テーマは「いわき市におけるウエルネスビジネス推進のための調査研究 ～健康・観光・スポーツによる地域活性化～」で、教養学部の大嶋淳俊教授、田中美和准教授、佐原太一郎助教の3名がそれぞれ、「地域の魅力発掘・発信方法～ウエルネスと温泉・観光地～」 「いわき市のレジャー産業におけるウエルネスビジネスの検討」「スポーツ産業の振興による地域活性」の3分野に分かれて調査・分析した結果をプレゼンし、全国の先進事例等との比較やいわき市内で行われている事業のアンケートによる分析等を通じて、地域活性化に繋がる提案をすることができました。質疑応答も活発に行われ、事業の成果を参加者と共有する機会となりました。

■地域連携協議会 会報誌を発刊

いわき明星大学地域連携協議会では、会員社や地域の皆さまに同会や大学の活動内容を知っていただく会報誌「RCC NEWS」を発刊しました。9月に発行された創刊号は、山崎洋次学長による巻頭言に始まり、平成28年度末から進められた企業様との包括連携協定についてや、新たにスタートした看護学部を含む各学部の内容等が紹介されています。

- ・いわき明星大学地域連携協議会「会報誌 RCC NEWS」発刊にあたって 山崎洋次学長
- ・包括連携（協定等）の推進について
- ・トピックス 包括連携の活動成果報告について
- ・キャンパスインフォメーション看護学部スタート 教養学部、人文学部、薬学部、科学技術学部
- ・インターンシップ（教養学部3年）について
- ・湯本高校1年生を対象とした一日総合大学の実施について
- ・いわき若手リーダー育成塾 参加者募集
- ・フラフェスタ in いわき明星大学学園祭について
- ・震災アーカイブ室について

4. 教育改革

■アクティブラーニング

平成29年度は、アクティブラーニングの要素を含む授業の実施状況を調査し、以下の結果が得られました。

アクティブラーニングの要素を取り入れている授業の割合

（全656科目中、回答を得た科目562科目）

ディスカッション・ディベート：44.3%（249科目）

プレゼンテーション：35.2%（198科目）

グループワーク：38.4%（216科目）

フィールドワーク：9.8%（55科目）

授業の内容、及び形態（講義、演習、実験）などから、これらの要素を取り入れることが困難な場合もありますが、主体的な学びにつながるような教育方法を日々、検討実施しています。

また、アクティブラーニング教室として、2-102 教室（296 席）と 16-B107 教室（80 席）を整備し、移動しやすい机と椅子の配置を始め、グループごとに利用できる複数のホワイトボードやプロジェクタ、電子黒板を設置しています。

■ ICT

（1） manab@IMU

学内の学修支援システム（manab@IMU）を整備し、授業での課題の確認、提出、テスト、アンケート、学生同士、あるいは学生と教職員とのコミュニケーションツールとしての活用など、情報リテラシーの向上に大きく役立っています。学修成果の蓄積による振り返りの学修、学修履歴の確認など e-ポートフォリオの機能としても活用されています。

（2） タブレット

本学では、入学時に全員にタブレット端末を配付しており、上記の学修支援システムや電子教科書の活用など、これから増々進展していく ICT 社会に対応できるよう日常的に利用できる環境を整えています。

■ 初年次教育

本学では全学部において、高等学校から大学への円滑な移行を図るため、初年次教育科目を必修科目として配置しています。薬学部はイグナイト教育、教養学部と看護学部はフレッシュャーズセミナーという科目の中で、レポート・論文の書き方、プレゼンの技法、図書館の活用方法など、学生同士の協同学修を中心に展開しています。

5. 学生の状況

1) 学生募集の状況

1) 学生募集の状況

定員充足を目指し、教育目標・カリキュラム構成を受験生へ周知するため、以下の事業を実施してきました。しかし、教養学部における入学者数は73名（入学定員充足率60.8%）、薬学部の入学者数は84名（入学定員充足率93.3%）、開設2年目となる看護学部の入学者数は80名（入学定員充足率100.0%）と、既存の2学部において定員を充足することができなかった。この結果を受け、平成30年度入学生をもって教養学部は募集停止となった。

■ 主な活動

- ・ 新入生30名により夏季に母校へ訪問、近況の報告と本学の広報を実施。
- ・ オープンキャンパスでは、来場者（高校生）の利便性を高め、誘引することを目的とし、無料送迎バスを7月では仙台・福島・郡山からの直通バスを運行、さらに高校から大学までの直通バスを

運行した。さらに、在学生による駅前広報センターでの実施告知活動や県内CM・媒体告知、FM放送を活用してきた。看護学部の開設に伴い、開設記念オープンキャンパスを実施、来場者数は昨年度から106.6%に増加した（H28高校生716名→H29高校生763名）。

- ・ 昨年に引き続きオープンキャンパスとは異なった、キャンパスライフの実体験を主とした『大学体験・見学会（ハッピーマンデー公開授業）』を7月・9月・10月の3回実施。7月では48名、9月では39名、10月では26名が来学、実際の授業や在学生とのキャンパスランチ、学修総合支援センターでの資格支援など、大学体験から本学の魅力を強く伝えることができた。
- ・ 教養学部では、福島県内を重点地区とし、高校訪問を中心に高校内進学ガイダンス参加や高校との総合大学を実施し、地域における学び＝本学の魅力・特色＝福島における就職を訴え、県内入学生のさらなる獲得を目指してきたが、昨年同様実業・総合系高校での就職状況の向上等の影響から大学進学者への誘引に結ばず、79.5%と大きく減員した（教養学部H29県内入学数60名→教養学部H30県内入学数58名）。薬学部においては薬剤師国家試験の合格率私立大学中全国1位の結果の基盤となっている「イグナイト教育」を中心に、県外高校へも近接する薬学系大学との教育成果の『差』を発信したが、県外入学生が3.9%減少、全体の入学者数でも3.5%減少した（薬学部H29入学数87名→薬学部H30入学数84名）。
- ・ 看護学部開設初年度の入試データに基づき、各地における医療系相談会へ積極的に参画、また大学独自の高校教員説明会、オープンキャンパス参加者におけるピンポイント訪問等実施し、定員の100%（80名）を確保することができたが、全体の入学者数が昨年比7.5%の減少であった。（看護学部H29入学数86名→看護学部H30入学者数80名）。
- ・ いわき明星大学ホームページは看護学部開設等に合わせて再度リニューアル、看護学部特設サイトの作成、またアニメーションキャラクターも継続採用し、看護学部のイメージPRビデオにも採用しCMやオープンキャンパス等多岐にわたって展開した。学生・教職員によるSNSも拡大し大学・募集広報を展開してきた。
- ・ 入試日程（別紙参照）

■平成30年度 いわき明星大学入学試験

1. 募集定員

試験種別 学部・学科	A O	推薦	一般		センター利用			合計
			1期	2期	A	B	C	
教養学部 地域教養 学科	20	55	15	5	15	5	5	120
薬学部 薬学科	5	20	20	5	30	5	5	90
看護学部 看護学科	—	40	10	5	15	5	5	80
合計	25	115	45	15	60	15	15	290

※社会人特別入試（教養学部・看護学部）の募集定員は若干名。

2. 入試日程

入試種別		出願期間	選考日	合格発表	手続期限
A O 1 期		8/17 (木) ~9/8 (金)	一次：書類審査	一次：9/19 (火)	12/15 (金)
			二次小論提出期限： 10/2 (月)	二次：10/13 (金)	
			二次：10/8 (日)		
A O 2 期		10/31 (火) ~11/22 (水)	一次：書類審査	一次：11/28 (火)	1/12 (金)
			二次小論提出期限： 12/5 (火)	二次：12/15 (金)	
			二次：12/9 (土)		
吹奏楽特待 A O 1 期		8/17 (木) ~10/2 (月)	10/8 (日)	10/13 (金)	12/15 (金)
吹奏楽特待 A O 2 期		11/17 (金) ~12/5 (火)	12/9 (土)	12/15 (金)	1/12 (金)
専門高校・総合学科 特別 A O		8/17 (木) ~10/2 (月)	10/8 (日)	10/13 (金)	12/15 (金)
社会人特別					
推 薦	指定校推薦 公募推薦 1 期 地域公募推薦 1 期	10/6 (金) ~11/8 (水)	11/12 (日)	11/16 (木)	12/15 (金)
	(指定校推薦 2 期)	11/17 (金) ~12/5 (火)	12/9 (土)	12/15 (金)	1/12 (金)
	公募推薦 2 期 地域公募推薦 2 期	11/17 (金) ~12/5 (火)	12/9 (土)	12/15 (金)	1/12 (金)
一般 1 期		1/5 (金) ~1/24 (水)	1/25 (木)	1/27 (土)	2/22 (木)
一般 2 期		2/1 (木) ~2/15 (木)	2/16 (金)	2/20 (火)	3/8 (木)
センター A		1/5 (金) ~1/31 (水)	大学独自の試験は実施し ない	2/7 (水)	2/22 (木)
センター B		2/1 (木) ~2/15 (木)	大学独自の試験は実施し ない	2/20 (火)	3/8 (木)
センター C		2/22 (木) ~3/12 (月)	大学独自の試験は実施し ない	3/16 (金)	3/22 (木)

2) 学生支援

■部活動報告

◆吹奏楽団活動報告

○第 55 回福島県吹奏楽コンクール

開催日：平成 29 年 7 月 30 日（日）

会場：いわき芸術文化交流館アリオス

結果：金賞、県知事賞、福島県代表として東北大会へ

○第 60 回全日本吹奏楽コンクール東北大会

開催日：平成 29 年 9 月 9 日（土）

会場：仙台市 仙台銀行ホールイズミティ 21

結果：金賞、東北代表として全国大会へ

○第 65 回全日本吹奏楽コンクール

開催日：平成 29 年 10 月 28 日（土）

会場：岡山県 倉敷市民会館

結果：銅賞

○第 45 回福島県アンサンブルコンテストいわき支部大会

開催日：平成 29 年 12 月 10 日（日）

会場：いわき芸術文化交流館アリオス

結果：打楽器 6 重奏 金賞・代表、金管八重奏 金賞・代表、クラリネット四重奏 金賞

○第 45 回福島県アンサンブルコンテスト

開催日：平成 30 年 1 月 14 日（日）

会場：福島市 とうほう・みんなの文化センター

結果：打楽器六重奏 金賞・代表、金管八重奏 金賞

○第 45 回全日本アンサンブルコンテスト東北大会

開催日：平成 30 年 2 月 11 日（日）

会場：福島市 とうほう・みんなの文化センター

結果：金賞

○いわき養護学校 訪問演奏

開催日：平成 29 年 10 月 10 日（火）

○中央台ウィンターコンサート

開催日：平成 29 年 12 月 23 日（土）

◆学園祭報告

日時：平成 29 年 10 月 21 日（土）～10 月 22 日（日）開催

来場者数 10/21(土) 1,196名 10/22(日) 613名

ライブ入場者数 900名

トークショー入場者数 450名

■奨学金状況報告

平成 29 年度のいわき明星大学独自の奨学金制度と奨学金採用状況は以下のとおりです。

◆本学独自の奨学金制度と奨学金採用状況

- | | | |
|--------------------------|------------------|--------|
| 1. いわき明星大学奨学金（特待生）【給付】 | 学部 8 名（大学院 対象外） | 計 8 名 |
| 2. いわき明星大学奨学金（給付）【給付】 | 学部 39 名・大学院 0 名 | 計 39 名 |
| 3. いわき明星大学勤労奨学生【給付】 | 学部 22 名・大学院 0 名 | 計 22 名 |
| 4. 修学支援緊急奨学金【学費減免】 | 学部 3 名・大学院 0 名 | 計 3 名 |
| 5. いわき明星大学ファミリー奨学金【学費減免】 | 学部 14 名（大学院 対象外） | 計 14 名 |

※採用者合計 学部 86 名 ・大学院 0 名 計 86 名

■学生データ

いわき明星大学 学部・学科別在学者数(大学年度ごと)

	平成29年度 2017			平成30年度 2018			平成31年度 2019			平成32年度 2020			平成33年度 2021			平成34年度 2022			平成35年度 2023			合計														
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計												
	国際経済学科							42	11	53	6	1	7	1		1				1		1				50	12	62								
国際経済学修士							42	11	53	6	1	7	1		1				1		1				50	12	62									
国際文化学科							18	17	35	4	4	8				1	1	2				1			24	22	46									
現代文化学科							17	4	21	7	1	8				2		2							26	5	31									
看護学科							22	31	53	10		10				1		1				2		2	33	33	66									
人文学部							57	52	109	21	5	26	3	1	4	1	2	3				1		1	83	60	143									
理学部	40	48	88	43	29	72	25	35	60	26	33	59	19	18	37	18	17	35	5	12	17	11	5	16	6	3	9	5	4	9	202	198	400			
理学部	40	48	88	43	29	72	25	35	60	26	33	59	19	18	37	18	17	35	5	12	17	11	5	16	6	3	9	5	4	9	202	198	400			
経済学部	44	34	78	54	44	108	61	42	103																			169	120	289						
経済学部	44	34	78	54	44	108	61	42	103																			169	120	289						
芸術学部	14	72	86																									14	72	86						
芸術学部	14	72	86																									14	72	86						
総計	56	152	208	107	73	180	86	77	163	125	96	221	46	24	70	22	18	40	6	14	20	12	5	17	7	3	10	5	4	9	4	4	8	518	402	920

2017.5.1現在

いわき明星大学 大学院・専攻別 在学者数(入学年度ごと)

	平成29年度 2017			平成30年度 2018			平成31年度 2019			平成32年度 2020			平成33年度 2021			平成34年度 2022			平成35年度 2023			総合計								
	男	女	合計	男	女	合計																								
	物質理工学専攻	1		1	3		3																			4		4		
物質理工学専攻																														
理工学研究科(修士)計	1		1	3		3																			4		4			
日本文学専攻																														
英米文学専攻																														
社会学専攻																														
臨床心理学専攻			3			3	2	5	7				1		1										3	8	11			
人文学研究科(修士)計			3			3	2	5	7				1		1										3	8	11			
修士課程計	1	3	4	5	5	10							1		1										7	8	15			
物質理工学専攻			2			2																					2			2
日本文学専攻									1			1													1		1			
修士課程計			2			2			1			1													1	2	3			
理工学研究科(修士・博士)計	1	2	3	3		3																			4	2	6			
人文学研究科(修士・博士)計			3			3	2	5	7	1		1	1		1										4	8	12			
総計	1	5	6	5	5	10	1		1	1		1													8	10	18			

2017.5.1作成

3) 就職支援

■就職状況

就職率 99.40% (就職者数 173 名／就職希望者数 174 名)

進学率 3.02% (進学者数 6 名／卒業生数 199 名)

平成30年5月1日現在

学部	卒業生		進学	左記以外の進学	公・教再受験	進路検討	就職希望者数(A)	就職者数(B)	一時的な就職者数(C)	未決	就職率(B+C/A)	(参考)H28就職率(4/1)
科学技術	男子	42	0	1	0	2	39	38	1	0	100.0%	100.0%
	女子	12	0	0	0	0	12	12	0	0	100.0%	100.0%
	合計	54	0	1	0	2	51	50	1	0	100.0%	100.0%
人文	男子	57	1	2	2	9	43	41	1	1	97.7%	97.4%
	女子	51	2	0	0	4	45	42	3	0	100.0%	92.9%
	合計	108	3	2	2	13	88	83	4	1	98.9%	95.1%
薬	男子	20	0	0	0	1	19	19	0	0	100.0%	100.0%
	女子	17	0	0	0	1	16	16	0	0	100.0%	100.0%
	合計	37	0	0	0	2	35	35	0	0	100.0%	100.0%
大学全体	男子	119	1	3	2	12	101	98	2	1	99.0%	99.0%
	女子	80	2	0	0	5	73	70	3	0	100.0%	96.2%
	合計	199	3	3	2	17	174	168	5	1	99.4%	97.7%

■学科別

学科	卒業生		進学	左記以外の進学	公・教再受験	進路検討	就職希望者数(A)	就職者数(B)	一時的な就職者数(C)	未決	就職率(B+C/A)	(参考)H28就職率(4/1)
科学技術	男子	42	0	1	0	2	39	38	1	0	100.0%	100.0%
	女子	12	0	0	0	0	12	12	0	0	100.0%	100.0%
	合計	54	0	1	0	2	51	50	1	0	100.0%	100.0%
表現文化	男子	15	0	0	0	1	14	13	1	0	100.0%	100.0%
	女子	18	0	0	0	0	18	18	0	0	100.0%	89.5%
	合計	33	0	0	0	1	32	31	1	0	100.0%	93.1%
現代社会	男子	20	0	1	1	6	12	11	0	1	91.7%	94.4%
	女子	5	0	0	0	0	5	5	0	0	100.0%	100.0%
	合計	25	0	1	1	6	17	16	0	1	94.1%	95.5%
心理	男子	22	1	1	1	2	17	17	0	0	100.0%	100.0%
	女子	28	2	0	0	4	22	19	3	0	100.0%	94.7%
	合計	50	3	1	1	6	39	36	3	0	100.0%	96.7%
薬	男子	20	0	0	0	1	19	19	0	0	100.0%	100.0%
	女子	17	0	0	0	1	16	16	0	0	100.0%	100.0%
	合計	37	0	0	0	2	35	35	0	0	100.0%	100.0%
大学全体	男子	119	1	3	2	12	101	98	2	1	99.0%	99.0%
	女子	80	2	0	0	5	73	70	3	0	100.0%	96.2%
	合計	199	3	3	2	17	174	168	5	1	99.4%	97.7%

【注意】

- 1) 進学＝大学院研究科等に入学した者。
- 2) 左記以外の進学＝専修学校・各種学校、外国の学校及び職業能力開発校への入学した者、研究生として入学した者。
- 3) 公・教再受験＝卒業後、次年度に公務員・教員試験を受験希望の者。(臨時採用希望者も含む)
- 4) 進路検討＝進路未定、検討中だが、就職はしない意思表示をした者。不就職者も含む。
- 5) 就職希望者数(A)＝卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者。
- 6) 就職者数(B)＝正規の職員として最終的に就職した者。(企業等から採用通知などが出された者)
- 7) 一時的な就職者数(C)は、契約期間限定(1年以上)で、かつ社会保険付の就職を示す。
- 8) 未決＝就職活動中の者。

■主な就職先（就職データ）

科学技術	東京電力HD(株)、福島警察本部、(株)関電工、(株)東日本計算センター、(株)江東微生物研究所、 (株)常磐開発、純正化学(株)、福島日産自動車(株)、東新工業(株)、ボックス情報システム(株)
人文	大和証券(株)、損害保険ジャパン日本興亜(株)、東邦銀行(株)、福島銀行(株)、ひまわり信用金庫、 いわき信用組合、山形中央信用組合、福島さくら農業協同組合、東部液化石油(株)、渡辺パイプ(株)、 全国漁業信用基金協会福島支所、(株)ヨークベニマル、(株)福島マツダ
薬	いわき市立総合磐城共立病院、福島県立医科大学、秋田大学医学部附属病院、山形大学医学部附属病院、 気仙沼市立病院、(医)養生会かしま病院、(公財)星総合病院、イオンリテール(株)、(株)マツモトキョシHD、 (株)ツルハHD、(株)くすりのマルトアポロメディカルHD(株)アイランド薬局、日本調剤(株)、クラフト(株)

■インターンシップ

(1) 実施学科人数

学科	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
科学技術	1	47	32	24	29
表現文化	0	19	25	9	13
現代社会	1	13	10	15	11
心理	1	23	24	20	36
地域教養	85				
計	88	102	91	68	89

(2) 受け入れ企業

No.	企業・団体名	参加人数	No.	企業・団体名	参加人数
1	いわき市役所	16	17	(株)ワンダーファーム	2
2	スバリゾートハワイアンズ	11	18	日立市役所	2
3	八幡印刷(株)	8	19	いわき明星大学	2
4	スーパースポーツゼビオいわき店	4	20	福島県商工信用組合 ※	1
5	(株)ドームユニテッド	3	21	社会福祉法人 五彩会	1
6	(株)いわき土地建物	3	22	(株)ワークマン ※	1
7	(株)FSK	3	23	(株)サンシャインいわき	1
8	福島民報社 ※	3	24	(有)サポート ポチの家	1
9	常磐パッケージ(株) ※	3	25	(株)コロワイド ※	1
10	平商事(株)ヤマニ書房	3	26	いわき信用組合 ※	1
11	福島銀行	3	27	社会福祉法人 ファミリーケアサービス ※	1
12	ひまわり信用金庫	2	28	(株)仙台放送 ※	1
13	アイ・ケイ・ケイ(株) ララチャンスいわき	2	29	(株)宮城テレビ ※	1
14	(株)いわき市民コミュニティ放送	2	30	(株)東日本放送 ※	1
15	(株)ヨークベニマル	2	31	損害保険ジャパン日本興亜(株) ※	1
16	(株)マルト	2			
※)今年度の新規開拓先11社				合計	88

■対象学生数に対する「参加人数（実数）」及び「参加率」の推移

学部	項目	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
科学技術	対象学生数	4	60	58	51	105
	参加実数	1	45	22	24	29
	参加率(%)	25%	75%	38%	47%	28%
人文	対象学生数	18	132	129	138	220
	参加実数	2	51	44	44	60
	参加率(%)	11%	39%	34%	32%	27%
教養	対象学生数	94	/	/	/	/
	参加実数	73				
	参加率(%)	78%				
計	対象学生数 合計	116	192	187	189	325
	参加実数 合計	76	96	66	68	89
	参加率(%)	66%	50%	35%	36%	27%



いわき市役所 文化スポーツ室 文化振興課



ドーム物流センター

■就職支援内容

1. 科学技術学部・人文学部対象(抜粋)

No.	行事名	日付	時間・時限	場 所	参加学生数
1	キャリア就活ガイダンス	4月4日(火)	15:00~16:00	AV大講義室	147名
2	マイナビ就職EXPOいわき	5月11日(木)	12:00~15:30	いわき産業創造館	6名
3	就職個別面談	6月2日(金)~7月31日(月)	9:00~18:00	事務局	—
4	学内合同企業説明会	7月21日(金)	15:00~19:00	2-102講義室	41名
5	マイナビ就職セミナー	7月13日(木)	13:00~17:00	仙台AER	4名
6	キャリアガイダンス	9月13日(水)	10:40~12:10	AV大講義室	110名
7	就活フォロー講座	9月20日、21日、28日	3限、2限、4限	3-304講義室	3名、2名、3名
8	学内合同企業説明会	11月10日(金)	13:00~15:55	本館4階大会議室他	—

2. 教養学部対象(抜粋)

No.	行事名	日付	時間・時限	場 所	参加学生数
1	就職個別面談	12月1日(金)~22日(金)	9:00~17:00	事務局	77名
2	大模倣面接会	12月16日(土)	13:00~17:00	2-102講義室他	75名
3	就職履歴書写真撮影会	12月中旬~1月末	9:00~17:00	本館4階小会議室	—
4	女子学生のためのメイクアップ講座	1月26日(金)	14:40~16:10	3W-301講義室	—
5	マイナビ就職EXPO in宮城	3月1日(木)、2日(金)	11:00~17:00	グランディ21	55名
6	ふくしま大卒等就職ガイダンス	3月8日(木)	10:00~16:00	ビッグパレットふくしま	—
7	いわき市合同企業説明会	3月9日(金)	10:00~16:00	ワシントンホテル椿山荘	—
8	マイナビ就職EXPO in東京	3月12日(月)	10:00~16:00	東京ビックサイト	—
9	学内合同企業説明会	3月15日(木)、16日(金)	11:30~16:30	2-102講義室他	57名、49名

3. 薬学部対象

No.	行事名	日付	時間・時限	場 所	参加学生数
1	就職個別面談	12月1日(金)~22日(金)	9:00~17:00	事務局	32名
2	就職履歴書写真撮影会	12月中旬~1月末	9:00~17:00	本館4階小会議室	—
3	業界研究会	1月22日(月)	14:40~16:10	16-B107講義室	—
4	履歴書・エントリーシートの書き方講座	1月25日(木)	14:40~16:10	16-B107講義室	—
5	面接試験対策講座(基礎編)	1月29日(月)	14:40~16:10	16-B107講義室	—
6	面接試験対策講座(実践編)	2月1日(木)	14:40~16:10	16-B107講義室	—
7	女子学生のためのメイクアップ講座	2月8日(木)	14:40~16:10	16-B107講義室	—
8	学内合同企業説明会	3月3日(土)	11:30~16:30	2-102講義室他	30名

6. キャンパス・アメニティ

■教育研究機関報告

○図書館

(1) 建物・職員数・蔵書状況及図書費

建物延面積	職員数					蔵書冊数					平成29年度増加冊数			平成29年度
	専任	兼任	非常勤・臨時	派遣職員等	合計	和書	洋書	計	内開架図書	内指定図書	和書	洋書	計	図書購入費
4,943	0	4	0	10	225,531	59,748	285,279	78,634	-	4,210	217	4,427	10,225	

(2) 利用状況及び文献複写件数

図書館利用状況										文献複写		
学 生					教 職 員					学内分	学外分	計
対象学生数	館内閲覧		館外貸出		対象職員数	館内閲覧		館外貸出				
	人員	冊数	人員	冊数		人員	冊数	人員	冊数			
988	-	-	2,822	5,614	204	-	-	696	1,840	522	84	606

(3) 雑誌・新聞所蔵及び受付種類数・製本冊数

雑誌・新聞所蔵			受付種類数						雑誌・新聞購入費	製本費	
和	洋	計	受付数			内購入分				冊数	金額
			和	洋	計	和	洋	計			
904	496	1400	113	24	137	111	24	135	4,643	0	0

○心理相談センター

1. センター員の構成

センター相談員は、臨床心理士有資格者である人文学研究科臨床心理学専攻の教員 5 名と専任カウンセラー2 名の計 7 名です。センター研修員は、人文学研究科臨床心理学専攻の大学院生 10 名です。また、大学院を修了した大学院生のうち、当センターでの卒業研修に任意登録した 12 名が特別研修員です。以上に、事務職員 1 名を加えた総計 29 名が、本年度センター員として活動しています。

2. 臨床心理に関する調査・研究

2-1 心理相談センター紀要第 12 号の発行

平成 28 年度の心理相談センターの活動報告を「いわき明星大学心理相談センター紀要第 12 号」にまとめ、書籍による発行からいわき明星大学学術機関リポジトリへの掲載へ変更しました。紀要第 12 号には、原著論文、活動報告として「ばんえつセミナー2015」特別企画講演の開催報告・研究視察報告・富士通「[平成 28 年度]いわき市一時提供住宅入居者等見守り支援」事業の報告・ストレス・マネジメントのためのリラックス学習会実施報告、修了生 2 名の修士論文要旨を掲載しました。

2-2 研究視察

心理相談センターで面談を継続していく中には、心理的援助による問題解決だけではなく、その方たちが自立して就労できるような社会的援助が必要とされる場合が多くあります。そのため地域の関連機関の活動に対する理解を深めることを目的に、郡山市内にあるあさかストレスケアセンターへ 9 月に視察を行いました。訪問先では、事業の概要や方針、その事業所独自の取り組みなど、特に産業

領域のメンタルヘルスに関することについて説明を受けました。

3. 心理相談

昨年度に引き続き、「新規来談者の獲得と安定した心理相談の実施」を目標に掲げ、相談活動を行いました。新規来談者数、総心理面接件数ともに減少傾向にありました。本年度行われた総心理面接件数は年間 1,198 件、月平均 100 件で、新規来談者数は 56 名でした。

4. 大学院生の教育、訓練及び実習

本年度において当センターの実習活動を行った研修員は 10 名でした（うち 1 名、休学のため未実施）。修士 1 年生は 1 人当たり平均 3.5 ケース、修士 2 年生は平均 4.6 ケースを担当し、心理面接実習を行いました。

その他、年間を通して以下の研修を実施しました（表●）。

表● 心理相談センター研修

日程	研修名	対象
4月4日	センターガイダンス	大学院1年
5月1日	インテーク面接陪席研修	大学院2年
7月24日	ケースガイダンス	大学院1年
7月31日	第1回緊急事態想定訓練(困難事例対応)	大学院1年・2年
8月4日	救命講習会	大学院1年
9月25日	環境整備	大学院1年・2年
11月2日	内部研修	大学院1年
11月17日	第2回緊急事態想定訓練(防災訓練)	大学院1年・2年

○学修総合支援センター

学修総合支援センター（Center for Learning Assistance and Support Services：通称 CLASS）は、いわき明星大学の教育目標である「全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人の育成」に基づき、学生の学修活動への直接的・間接的な支援を行い、学力の向上と定着を目指すとともに、就職力の強化を図ることを目的として、2015年4月に設置しました。

1. 補習（リメディアル）教育

学士力養成のための基礎学力の向上を目的として、対面式学習と e-learning 学習を組み合わせた効果的なリメディアル教育を実施し、授業⇒リメディアル学習⇒授業というサイクルを全学的に共有・確立することにより、学力の全学的な底上げを図っています。

2. 教職課程の総合支援

地域のニーズに応え得る優れた教員を養成するという本学の使命を達成する目的で、教職課程履修

の支援、および教員採用試験対策の強化に取り組んでいます。

3. IMU ビジネスカレッジ

IMU ビジネスカレッジは、キャリアアップを支援する正課外の学内スクールで、主に各種資格取得に向けた講座を開講し、資格試験対策を行っています。平成 29 年度は、MOS (Microsoft Office Specialist) 試験対策講座、簿記検定試験対策講座を開講しました。

資格を取得した学生には、資格取得奨励金として、受験費用の半額相当を給付する制度も同時に実施しています。

7. 平成29年度事業報告

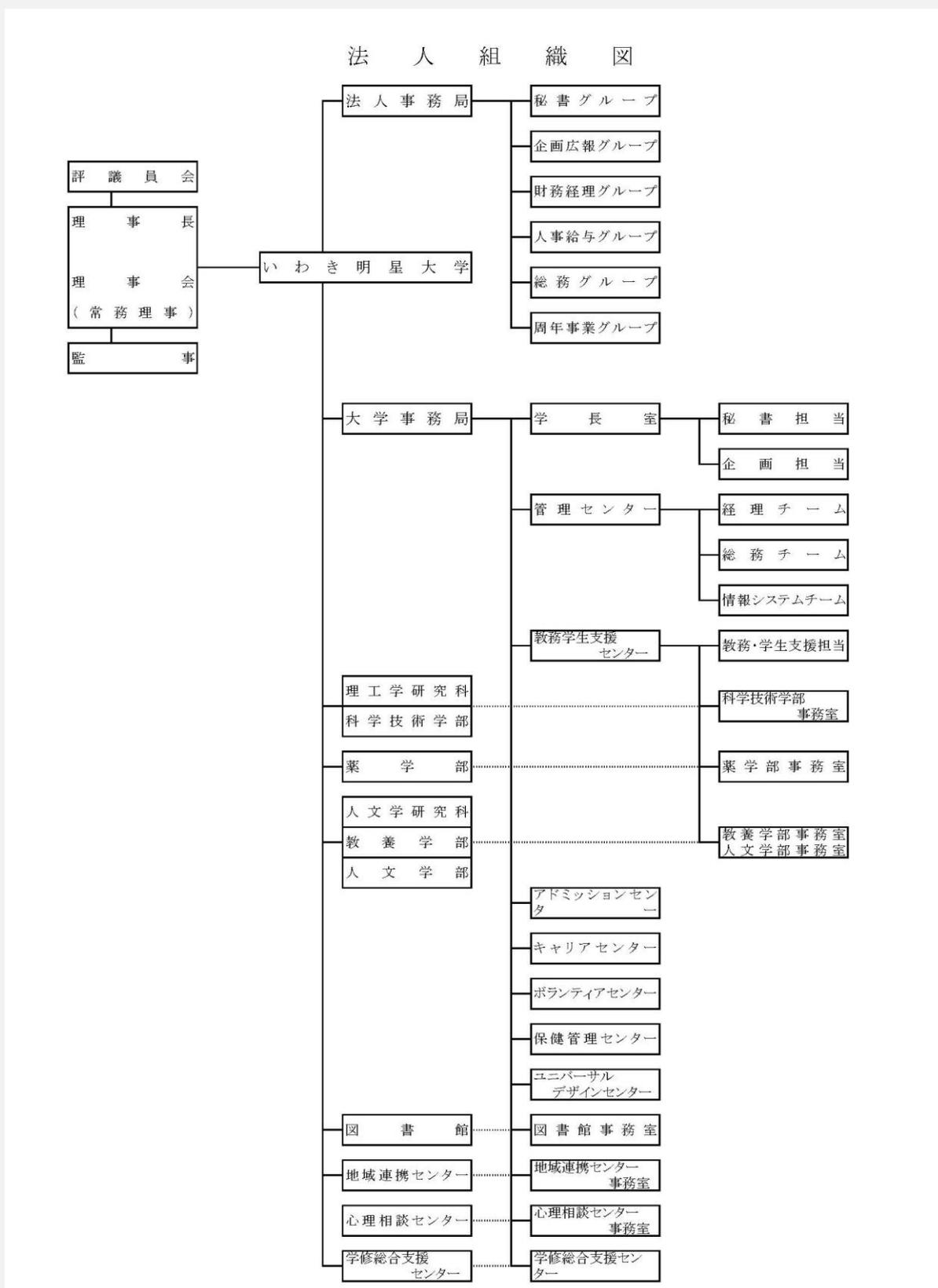
▼[平成 29 年度 事業報告書](#) (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

8. 平成30年度事業計画

▼[平成 30 年度 事業計画書](#) (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

9. 組織図（法人・大学）・役職員

■組織図



■役職者名簿

法人役員

小川 哲生	役員	理事長 (H29. 4. 1～H29. 11. 24)
新谷 幸義	役員	理事長 (H29. 11. 24～)
荒井 徹	役員	常務理事・事務局長 (H29. 4. 1～H29. 11. 24)
新谷 太郎	役員	常務理事 (H29. 11. 24～)
山村 侑英	役員	常務理事 (～H29. 7. 31)
鹿野 芳郎	役員	監事

学長・学部長

山崎 洋次	学長
菊池 雄士	副学長
五十嵐 幸一	副学長
中田 芳幸	科学技術学部長
林 洋一	人文学部長・教養学部長
川口 基一郎	薬学部長
久米 美代子	看護学部長
梅村 一之	理工学研究科長
小池 久恵	人文学研究科長

学科主任

中田 芳幸	科学技術学部科学技術学科主任
久呉 高之	教養学部地域教養学科主任
片桐 拓也	薬学部薬学科主任

専攻主任・副主任

岩田 恵理	理工学研究科物質理学専攻主任・物理工学専攻主任
山浦 政則	理工学研究科物質理学専攻副主任・物理工学専攻副主任
菊池 雄士	理工学研究科物質理工学専攻主任
村田 和子	理工学研究科物質理工学専攻副主任
松本 麻子	人文学研究科日本文学専攻主任（代行）
久呉 高之	人文学研究科英米文学専攻主任
柳澤 孝主	人文学研究科社会学専攻主任
窪田 文子	人文学研究科臨床心理学専攻主任

附属教育研究機関長

菊池 雄士	図書館長・学修総合支援センター長
山口 憲二	地域連携センター長
山本 佳子	心理相談センター長

事務管理者

荒井 徹	事務局長（～H29. 5. 31）
岩坂 健志	グループ長／事務局長（H29. 6. 1～H29. 11. 30）
宮腰 俊行	グループ長／次長／事務局長（H29. 12. 1～）
半澤 智祐	センター長
小椋 幸二	センター長
高橋 誠治	グループ長
関根 邦充	担当課長／グループ長
鈴木 久仁恵	担当課長／グループ長
上遠野 好和	担当課長
馬目 孝伸	担当課長
佐々木 正和	センター長
七島 良雄	センター長
直井 正敏	センター長

■教員一覧

▼[科学技術学部](#)

▼[教養学部](#)

▼[薬学部](#)

▼[看護学部](#)

10. 資料

1) 大学データ

平成29年度 いわき明星大学 スクールカレンダー

3月 (2017年)

月	火	水	木	金	土	日
20	21	22	23	24	25	26
春分の日 学位授与式			入学手續 不切			OPEN CAMPUS
27	28	29	30	31		

03/23(木) 入学手續不切

4月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
					1年オリエン テーション	入学式
3	4	5	6	7	8	9
1年研修	1年研修 2-8年ガイ	1-3年健診	4-8年健診 1年ガイ	学友会説明	授業	
10	11	12	13	14	15	16
授業	授業	授業	授業	授業	授業	授業
17	18	19	20	21	22	23
授業	授業	授業	授業	授業	授業 白紙授与式	授業
24	25	26	27	28	29	30
授業	スポーツフェスタ	授業	授業	授業	昭和の日	

04/01(土) 1年生オリエンテーション
04/02(日) 入学式
04/03(月) 1年生コミュニケーション研修
04/04(火) 1年生コミュニケーション研修
04/04(火) 2年生～6年生ガイダンス
04/05(水) 1～3年(学部)健康診断
04/08(木) 4～6年(学部)、大学院健康診断
04/08(木) 1年生ガイダンス
04/07(金) 学友会説明会
04/08(木)～14(金) 履修登録期間
04/17(月)～21(金) 履修登録確認変更期間
04/22(土) 白衣授与式(薬学5年・看護1年)
04/25(火) IMUスポーツフェスタ

5月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
授業	授業	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	授業	
8	9	10	11	12	13	14
授業	授業	授業	授業	授業	授業	授業
15	16	17	18	19	20	21
授業	授業	授業	授業	授業	授業	授業
22	23	24	25	26	27	28
授業	授業	授業	授業	授業	授業	授業
29	30	31				OPEN CAMPUS
授業	授業	授業				

05/28(日) オープンキャンパス

6月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
			授業	授業	授業	父母会総会
5	6	7	8	9	10	11
授業	授業	授業	授業	授業	公開講座	
12	13	14	15	16	17	18
授業	授業	授業	授業	授業	公開講座	
19	20	21	22	23	24	25
授業	授業	授業	授業	授業	公開講座	OPEN CAMPUS
26	27	28	29	30		
授業	授業	授業	授業	授業		

06/04(日) 父母会総会
06/10(土) 公開講座
06/17(土) 公開講座
06/24(土) 公開講座
06/25(日) オープンキャンパス

7月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
					授業	
3	4	5	6	7	8	9
授業	授業	授業	授業	授業	授業 大学院入試	授業
10	11	12	13	14	15	16
7/17振替 授業	授業	授業	授業	授業	授業	授業
17	18	19	20	21	22	23
大学見学会	授業	授業	授業	授業	授業	授業
24	25	26	27	28	29	30
授業	授業	授業	授業	授業	OPEN CAMPUS	OPEN CAMPUS

07/08(土) 入試：大学院推薦1期(心理)
07/10(月) 振替休日(7/17:休日授業日分)
07/17(月) 休日授業日(海の日)
07/17(月) 大学体験見学会
07/29(土) オープンキャンパス
07/30(日) オープンキャンパス

8月

月	火	水	木	金	土	日
7/31	1	2	3	4	5	6
補講	補講	補講	補講	補講	補講	
7	8	9	10	11	12	13
				山の日		
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
	教員講習	教員講習	教員講習	消防点検	消防点検	
28	29	30	31			
	CBT体験		成績報告不切			

07/31(月)～5(土) 補講期間
08/12(土)～17(木) 夏期一斉休業
08/22(火) 教員免許更新講習
08/23(水) 教員免許更新講習
08/24(木) 教員免許更新講習
08/25(金) 消防点検【ベル鳴動】
08/28(土) 消防点検【ベル鳴動】
08/29(火) CBT体験受験(薬学4年)
08/31(木) 前期成績報告不切

9月 ※薬学部4～6年生は9/1から後期授業を開始します

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
				OPEN CAMPUS	OPEN CAMPUS	OPEN CAMPUS
4	5	6	7	8	9	10
		前期学位授与	大学院入試		FDSD研修会	
11	12	13	14	15	16	17
成績通知		後期ガイダンス	授業	授業	授業	授業
18	19	20	21	22	23	24
授業	授業	授業	授業	授業	授業	父母懇談会
25	26	27	28	29	30	
授業	授業	授業	授業	授業	授業	

09/02(土) オープンキャンパス
09/03(日) オープンキャンパス
09/08(水) 前期卒業・修了学位記授与式
09/07(木) 入試：大学院推薦1期・一般1期
09/09(土) 第1回全学FD・SD研修会
09/11(月) 前期成績通知
09/13(水) 後期ガイダンス
09/14(木)～20(水) 履修登録確認変更期間
09/18(月) 休日授業日(敬老の日)
09/18(月) 大学体験見学会
09/23(土) 休日授業日(秋分の日)
09/24(日) 父母懇談会

平成29年度 いわき明星大学 スクールカレンダー

10月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
授業	授業	授業	授業	授業	授業	授業
9	10	11	12	13	14	15
授業	9/18振替	9/23振替	授業	授業	授業	授業
16	17	18	19	20	21	22
授業	授業	授業	10/9振替	学園祭	学園祭	学園祭
23	24	25	26	27	28	29
学園祭	授業	授業	授業	授業	授業	授業
30	31					
授業	授業					

10/08(日) 入試：A○1期
 10/08(日) 入試：吹奏楽特待A○1期
 10/08(日) 入試：専門高校・総合学科特別A○
 10/08(月) 休日授業日(体育の日)
 10/09(月) 大学体験見学会
 10/10(火) 指替休日(8/18: 休日授業日分)
 10/11(水) 指替休日(8/23: 休日授業日分)
 10/19(木) 指替休日(10/9: 休日授業日分)
 10/20(金) 学園祭(準備日)
 10/21(土) 学園祭(一般公開)
 10/22(日) 学園祭(一般公開)
 10/23(月) 学園祭(片付け日)

11月

月	火	水	木	金	土	日
						1
		授業	授業	文化の日 30周年式典	授業	2
3	4	5	6	7	8	9
授業	授業	授業	授業	授業	授業	授業
10	11	12	13	14	15	16
授業	授業	授業	授業	授業	授業	授業
17	18	19	20	21	22	23
授業	授業	授業	授業	授業	授業	授業
24	25	26	27	28	29	30
授業	授業	授業	授業	授業	授業	授業
31						

11/12(日) 入試：推薦1期(指定校・公募)
 11/03(金) いわき明星大学創立30周年記念式典
 11/12(日) 入試：社会人特別
 11/23(木) 全館停電

12月

月	火	水	木	金	土	日
						1
				授業	授業	2
3	4	5	6	7	8	9
授業						
10	11	12	13	14	15	16
授業						
17	18	19	20	21	22	23
授業						
24	25	26	27	28	29	30
授業						
31						

12/ 9(土) 入試：A○2期
 12/ 9(土) 入試：吹奏楽特別A○2期
 12/ 9(土) 入試：推薦2期(公募)
 12/10(日) OSCE本試験(薬学4年)
 12/20(水) 人文学部卒業論文提出日
 12/28(火) ~01/04(木) 年末年始休暇

1月(2018年)

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
元日				授業	授業	授業
8	9	10	11	12	13	14
成人の日	授業	授業	授業	DNC準備	DNC	DNC
15	16	17	18	19	20	21
授業	授業	授業	授業	授業	授業	授業
22	23	24	25	26	27	28
補講	補講	補講	補講	補講	補講	補講
29	30	31				
			一般1期		実習報告会	

01/12(金) 大学入試センター試験準備日
 01/13(土) 大学入試センター試験
 01/14(日) 大学入試センター試験
 01/20(土) CBT本試験(薬学4年)
 01/22(月)~27(土) 補講期間
 01/25(木) 入試：一般1期
 01/27(土) 実務実習報告会(薬学5年)

2月

月	火	水	木	金	土	日
						1
				授業	授業	2
3	4	5	6	7	8	9
授業						
10	11	12	13	14	15	16
授業						
17	18	19	20	21	22	23
授業						
24	25	26	27	28	29	30
授業						
31						

02/09(金) 後期成績報告〆切(卒業見込)
 02/13(火) 入試：大学院推薦2期・一般2期
 02/14(水) 消防設備点検【ベル鳴動】
 02/15(木) 消防設備点検【ベル鳴動】
 02/18(金) 入試：一般2期
 02/19(月) 後期成績報告〆切(進級見込)
 02/21(水) 卒業判定会議(教授会)
 02/22(木) 卒業合否発表
 02/28(水) OSCE再試験(薬学4年)

3月

月	火	水	木	金	土	日
						1
			卒業合否通知	授業	CBT再試	2
3	4	5	6	7	8	9
授業	授業	授業	授業	授業	授業	授業
10	11	12	13	14	15	16
授業	授業	授業	授業	授業	授業	授業
17	18	19	20	21	22	23
授業	授業	授業	授業	授業	授業	授業
24	25	26	27	28	29	30
授業	授業	授業	授業	授業	授業	授業
31						

03/01(木) 卒業合否通知
 03/03(土) CBT再試験(薬学4年)
 03/08(火) 進級判定会議(教授会)
 03/09(金) 後期成績通知(進級見込)
 03/10(土) 第2回全学FD・SD研修会
 03/21(水) 学位記授与式
 03/25(日) オープンキャンパス

授業
補講
行事

■学則

▼[いわき明星大学学則\(2017年4月1日施行\) <平成29年度入学者用>](#)

2) 学生データ

■平成29年度 学位授与数

学 部 (学科)	人数
科学技術学部 (科学技術学科)	54
人文学部	108
(表現文化学科)	(33)
(現代社会学科)	(25)
(心理学科)	(50)
薬学部 (薬学科)	37
学部合計	199

研究科 (専攻)	合格
理工学研究科	2
(物質理学専攻)	(2)
(物理工学専攻)	(0)
人文学研究科	8
(日本文学専攻)	(0)
(英米文学専攻)	(0)
(社会学専攻)	(0)
(臨床心理学専攻)	(8)
研究科合計	10

総合計	209
------------	------------

■国家試験、公務員等の合格実績

○薬剤師国家試験の合格率

【在校生】	
受験者：在校生 (A)	43 人
合格者 (B)	35 人
合格率 (B/A)	96.67%
【卒業生】	
受験者：卒業生 (C)	2 人
合格者 (D)	1 人
合格率 (D/C)	100%
【全体】	
受験者：全体 (A+C)	45 人
合格者 (B+D)	36 人
合格率 (B+D) / (A+C)	92.31%

○公務員合格者数 1名

福島県警察本部 1名

○日経 225 企業採用者数 6名

東京電力 HD(株) 3名

大和証券(株) 2名

損害保険ジャパン日本興亜(株) 1名

○進学者数 6名 (進学率 3.02%)

いわき明星大学大学院 2名 (臨床心理学研究科)

新潟青陵大学大学院 1名 (臨床心理学研究科)

国立武蔵野学院附属児童自立支援専門員養成所 1名

専門学校 2名

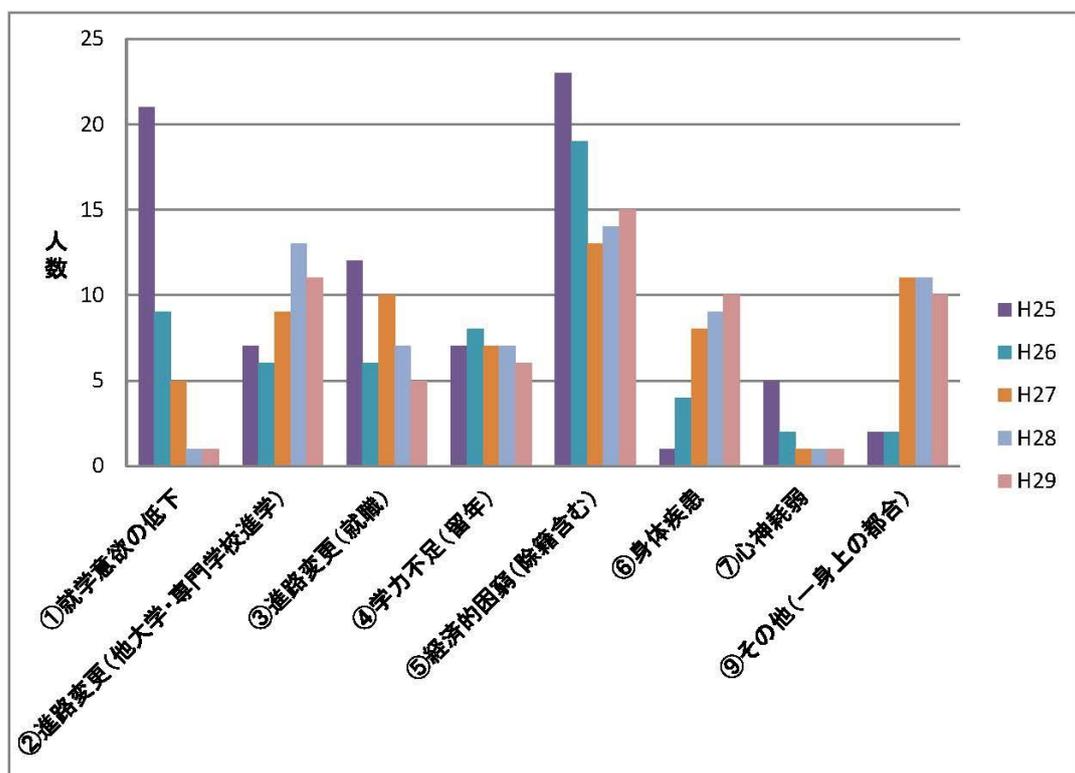
■休退学状況

○平成 29 年度退学者

年度理由別 退学・除籍者数(大学院除く)

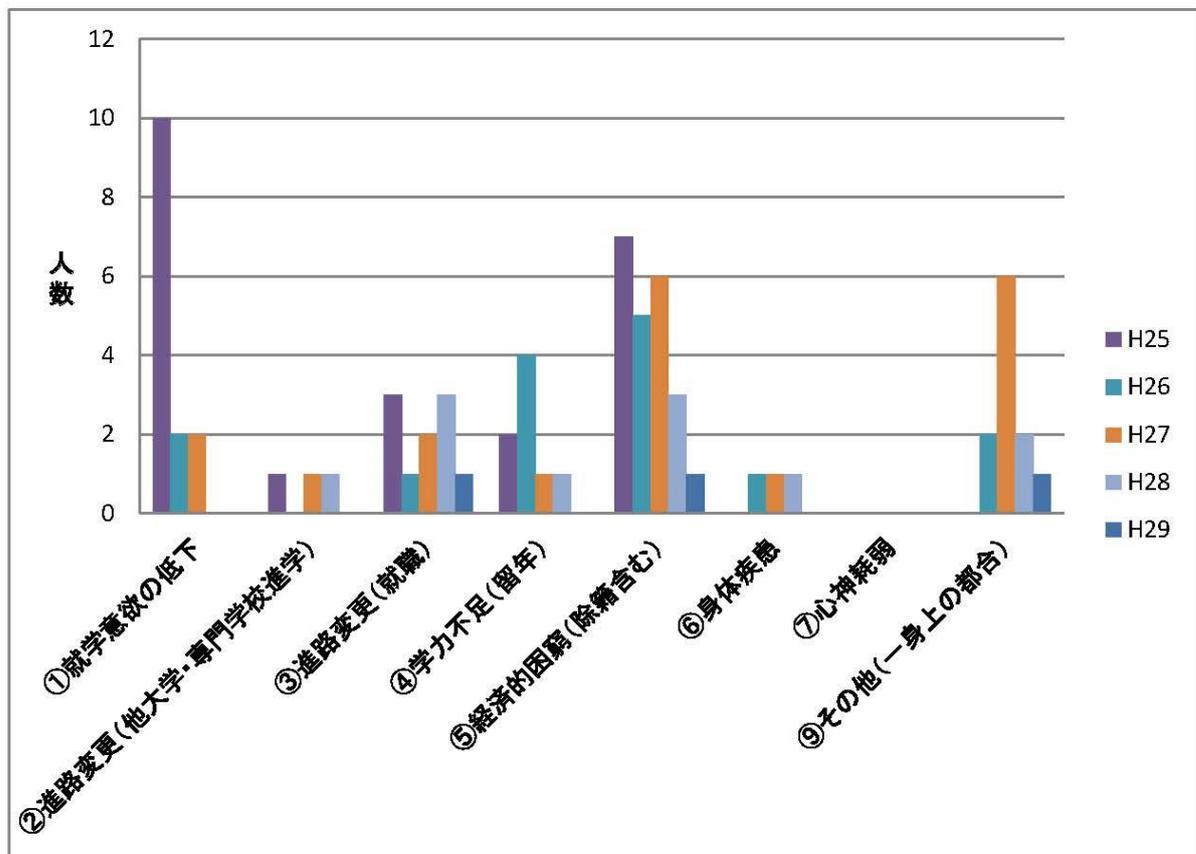
※グラフは平成25年～平成29年の5年間をグラフ化

理由	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
①就学意欲の低下	12	15	16	13	21	9	5	1	1
②進路変更(他大学・専門学校進学)	7	8	9	9	7	6	9	13	11
③進路変更(就職)	7	8	13	14	12	6	10	7	5
④学力不足(留年)	1		9	5	7	8	7	7	6
⑤経済的困窮(除籍含む)	25	26	35	20	23	19	13	14	15
⑥身体疾患	3	4	4	7	1	4	8	9	10
⑦心神耗弱	4	7	10	9	5	2	1	1	1
⑨その他(一身上の都合)	5		8	6	2	2	11	11	10



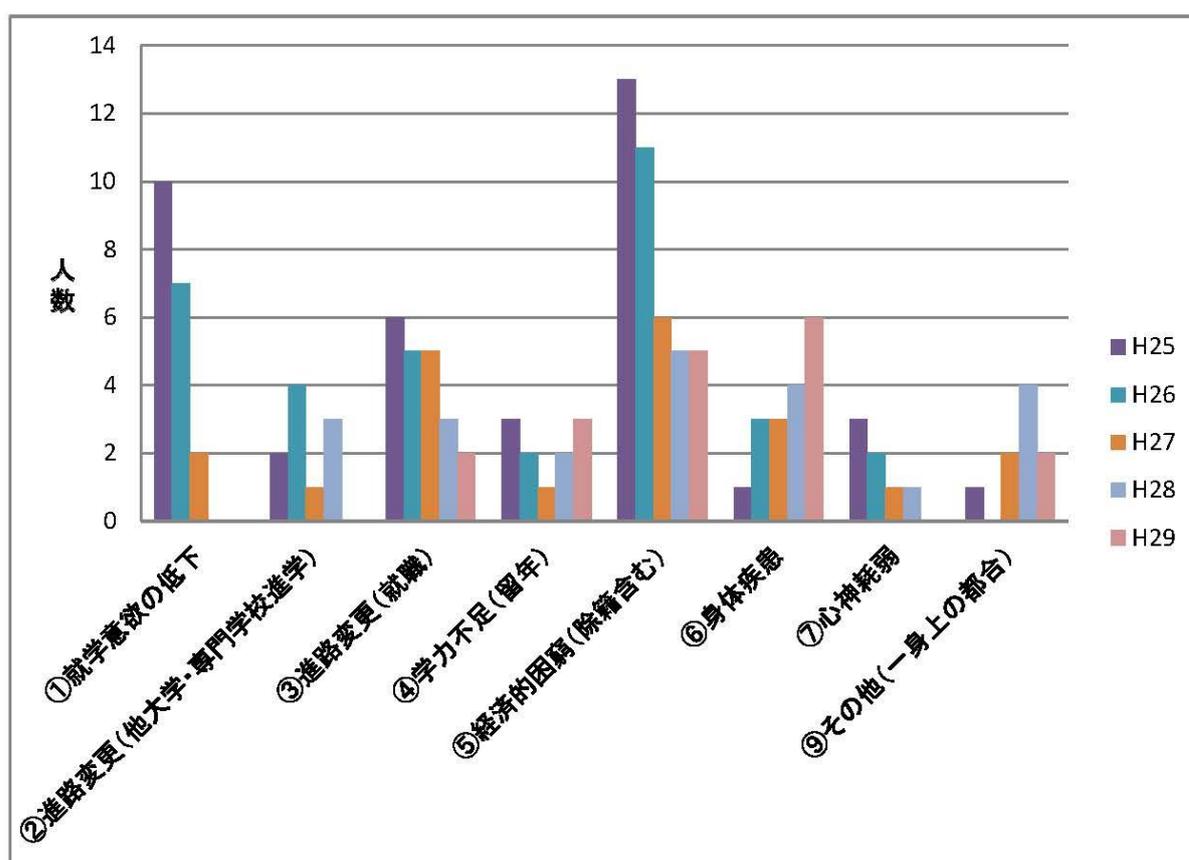
科学技術学部

理由	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
①就学意欲の低下	2	5	6	6	10	2	2		
②進路変更(他大学・専門学校進学)	2	1		2	1	0	1	1	
③進路変更(就職)	1	1	2	6	3	1	2	3	1
④学力不足(留年)	3		2	1	2	4	1	1	
⑤経済的困窮(除籍含む)	3	6	11	6	7	5	6	3	1
⑥身体疾患		1	2			1	1	1	
⑦心神耗弱		2	2	2		0			
⑨その他(一身上の都合)	1		3	2		2	6	2	1



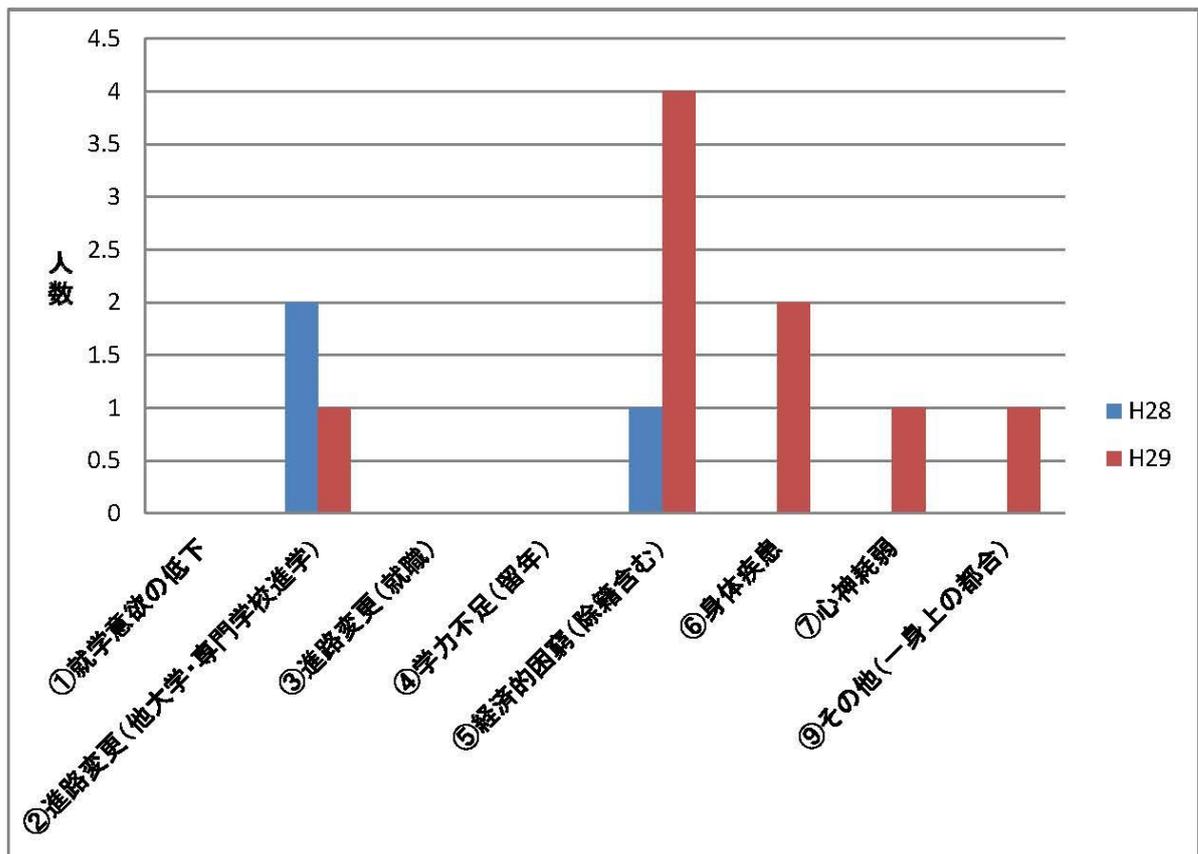
人文学部

理由	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
①就学意欲の低下	9	6	8	4	10	7	2		
②進路変更(他大学・専門学校進学)	3	4	4	2	2	4	1	3	
③進路変更(就職)	5	6	10	8	6	5	5	3	2
④学力不足(留年)			3	2	3	2	1	2	3
⑤経済的困窮(除籍含む)	18	18	21	14	13	11	6	5	5
⑥身体疾患	3	3	1	5	1	3	3	4	6
⑦心神耗弱	3	1	6	6	3	2	1	1	
⑧その他(一身上の都合)	1		3	2	1	0	2	4	2



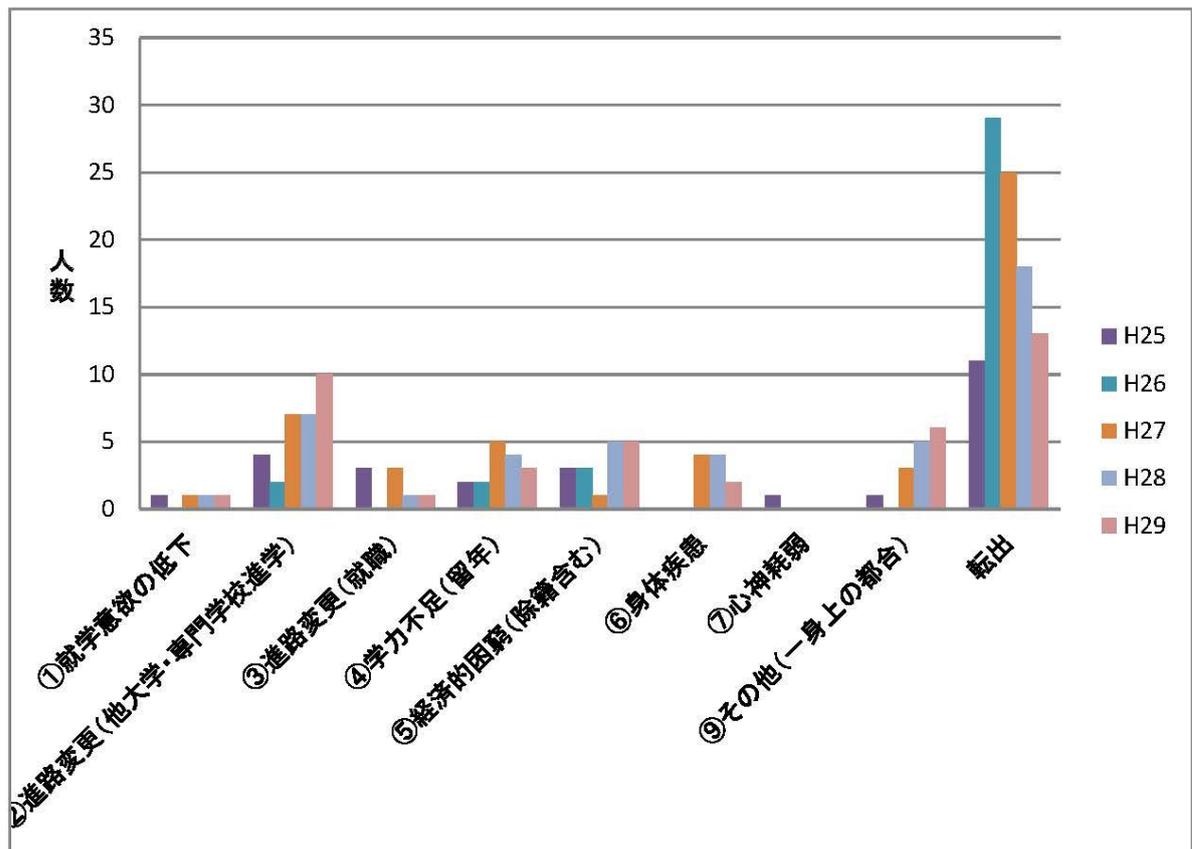
教養学部

理由	H28	H29						
①就学意欲の低下								
②進路変更(他大学・専門学校進学)	2	1						
③進路変更(就職)								
④学力不足(留年)								
⑤経済的困窮(除籍含む)	1	4						
⑥身体疾患		2						
⑦心神耗弱		1						
⑨その他(一身上の都合)		1						



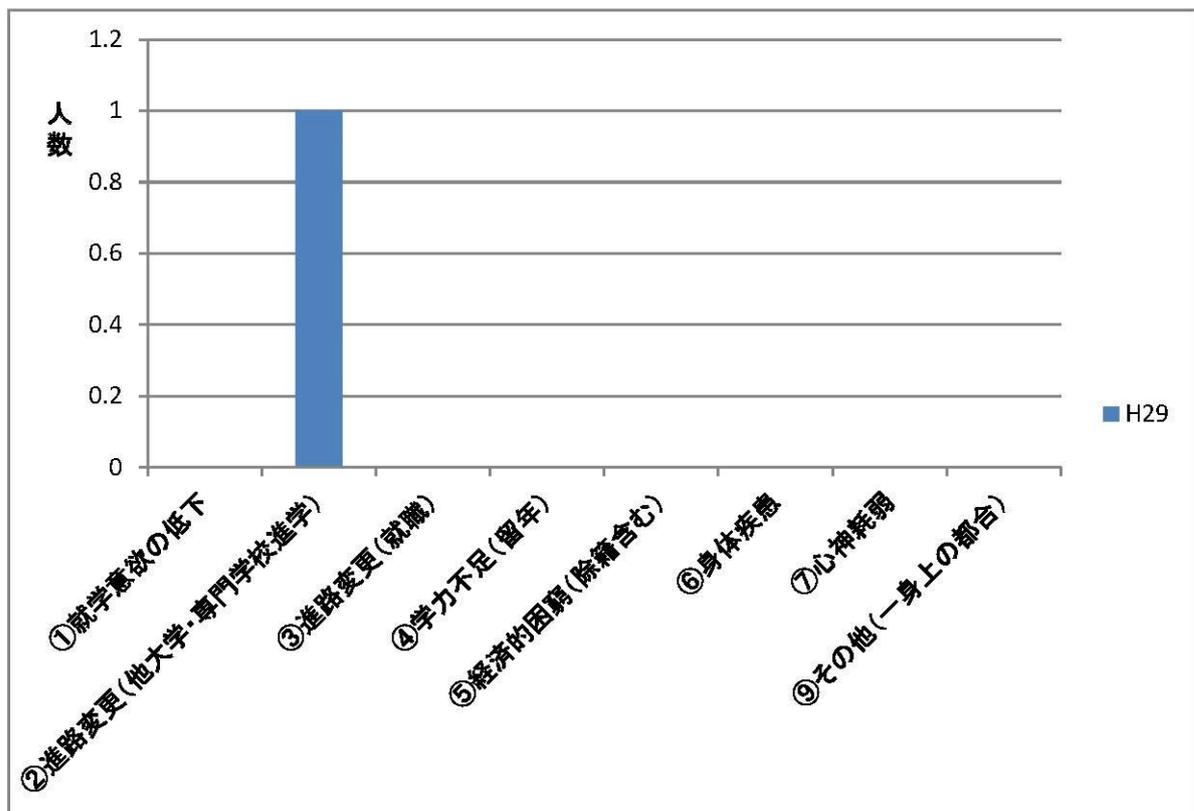
薬学部

理由	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
①就学意欲の低下	1	4	2	2	1	0	1	1	1
②進路変更(他大学・専門学校進学)	2	3	5	5	4	2	7	7	10
③進路変更(就職)					3	0	3	1	1
④学力不足(留年)			4	2	2	2	5	4	3
⑤経済的困窮(除籍含む)		2	1		3	3	1	5	5
⑥身体疾患			1	2		0	4	4	2
⑦心神耗弱	1	3	2	1	1	0			
⑨その他(一身上の都合)			1	2	1	0	3	5	6
転出	8	10	10	10	11	29	25	18	13



看護学部

理由	H29							
①就学意欲の低下								
②進路変更(他大学・専門学校進学)	1							
③進路変更(就職)								
④学力不足(留年)								
⑤経済的困窮(除籍含む)								
⑥身体疾患								
⑦心神耗弱								
⑨その他(一身上の都合)								



○平成 29 年度休学者

H29

学部学科学年別 休学者数

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	休学率(学科)
科学技術学部	科学技術学科				1			1	1.6%
	小計				1			1	1.6%
人文学部	表現文化学科		1					1	2.3%
	現代社会学科		1	1				2	5.0%
	心理学科			3				3	6.6%
	小計		2	4				6	4.5%
薬学部	薬学科	4	3	4	3		2	16	4.1%
	小計	4	3	4	3		2	16	4.1%
教養学部	地域教養学科	4	3	2				9	3.2%
	小計	4	3	2				9	3.2%
看護学部	看護学科	1						1	1.2%
	小計	1						1	1.2%
計		9	8	10	4	0	2	33	3.5%

※休学率は3/1学生数946名：科技61名・表現43名・現社30名・心理59名・薬385名・教養283名・看護85名で算出

H29

学部別休学理由

	科技	人文	教養	薬	看護	計
①就学意欲の低下			1			1
②進路変更（他大学/専門学校進学/本学へ転部転科）				1		1
③進路変更（就職）		1				1
④学力不足（留年）						0
⑤経済的困窮		1		5		6
⑥体調不良（病気療養）	1	1	8	6	1	17
⑦心身耗弱						0
⑧一身上の都合		3		4		7
計	1	6	9	16	1	33

■学修行動調査

▼「平成 29 年度学修行動調査報告書」

■ジェネリックスキル調査

本学では、社会人基礎力（ジェネリックスキル）を定期的に測定し、教育内容の改善のための貴重なデータとしています。河合塾とリアセックが共同開発したジェネリックスキルの成長を支援するアセスメントプログラム、PROG テスト（PROGRESS REPORT ON GENERIC SKILLS）を採用し、社会で求められる汎用的な能力・態度・志向=ジェネリックスキルを測定し、学生には現状を客観的に把握してもらい、能力開発に資するよう、一人ひとりにフィードバックしています。

平成 29 年度実施内容

教養学部 1 年生：74 名（4 月 11 日テスト実施，5 月 10 日フィードバック解説会）
教養学部 3 年生：94 名（4 月 17 日テスト実施，5 月 15 日フィードバック解説会）
薬学部 1 年生：85 名（4 月 11 日テスト実施，5 月 10 日フィードバック解説会）
薬学部 3 年生：47 名（11 月 13 日テスト実施，12 月 14 日フィードバック解説会）
薬学部 5 年生：33 名（11 月 13 日テスト実施，12 月 14 日フィードバック解説会）
看護学部 1 年生：86 名（4 月 10 日テスト実施，5 月 10 日フィードバック解説会）

■学生満足度

▼2017年度 いわき明星大学学生生活満足度調査〔報告書〕

■課外活動状況

○学友団体

・委員会（6 団体） 54 名
・体育団体（9 団体） 158 名
・文化団体（9 団体） 130 名
・愛好会（10 団体） 123 名
（34 団体） 計 465 名

○吹奏楽団 39 名

○ボランティアセンター 登録者 19 名
合計 523 名

3) 教職員データ

男女比

	男性	女性	合計
教職員（パート・役員等含む）	114	80	194
非常勤講師	38	12	50
合計	152	92	244

年齢構成

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
教職員（パート・役員含む）	10	22	65	44	46	7	194
非常勤講師	0	4	6	14	25	1	50
合計	10	26	71	58	71	8	244

教員の職位

教授	准教授	講師	助教	特別教授	助手	特任教授	常勤教授	客員教授
53	25	8	13	1	4	6	1	3

非常勤講師	合計
50	164

4) 会議データ

■学内委員会関係

本学では、教学に関する管理運営を適切に行うため、いわき明星大学学則および諸規程において、以下の会議体等の設置を定め、大学運営に関する審議等を行っている。

また、本学では教学担当の副学長を配置し、教育および学生の学修支援に関する学長の職務を補佐する体制をとっている。

(1) 大学評議会

- ① 大学評議会は、学長、副学長、学部長、大学院研究科長、図書館長、地域連携センター長、心理相談センター長、学修総合支援センター長、学部所属教授各2名をもって組織する。
- ② 学長は、大学評議会を招集し、その議長となる。
- ③ 大学評議会は学長の諮問に応じて、以下の事項を審議する。
 - 教育、研究に関する全学的重要事項
 - 学則その他重要な規則に関する全学的共通事項
 - 学生の厚生補導およびその身分の基準に関する事項
 - 全学共通教育科目および全学的な資格科目に関する事項
 - その他必要と認められる事項

【開催状況】

第1回	平成30年2月14日
第2回	平成30年3月14日

(2) 学部教授会

- ① 学部教授会は、当該学部に所属する専任の教授、准教授、講師、助教をもって組織します。
- ② 学部長は、教授会を招集し、その議長となります。
- ③ 教授会は、当該学部に関わる以下の事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとします。
 - 学生の入学および卒業に関する事項
 - 学位の授与に関する事項
 - その他、教育研究に関する重要な事項で、学長が定める事項

【開催状況】

教養学部	薬学部	看護学部
定例 11回 臨時 2回	定例 11回 臨時 2回	定例 11回 臨時 1回
4月26日	4月22日	4月27日
5月31日	5月27日	5月25日
6月28日	6月24日	6月22日
7月26日	7月22日	7月27日
9月27日	9月23日	9月28日
10月25日	10月28日	10月26日
11月22日	11月25日	11月22日
12月20日	12月22日	12月21日
1月31日	1月27日	1月26日
2月 6日 臨時	1月31日 臨時	2月22日
2月21日	2月21日	3月 6日 臨時
3月 6日 臨時	3月 6日 臨時	3月22日
3月14日	3月17日	

※教養学部教授会は人文学部教授会も兼ねる。

理工学研究科	人文学研究科
定例 8回 臨時 0回	定例 11回 臨時 3回
4月26日	4月26日
6月28日	5月31日
8月 2日	6月28日
9月27日	7月26日
12月20日	9月27日
1月31日	10月25日
2月21日	11月22日
3月14日～3月17日 メール	12月20日
	1月31日
	2月21日
	3月 6日 臨時2回
	3月 8日～3月10日 臨時(メール)
	3月14日

(3) 学部長会

- ①学部長会は、学長、副学長、学部長、大学院研究科長、事務局長をもって構成する。学長が必要と認めたとき、他の教職員を加えることができる。
- ②学長は、学部長会を招集し、その議長となる。
- ② 学部長会は、大学全体の運営に関する事項の連絡調整を行う。

【開催状況】

第1回	平成29年4月12日
第2回	平成29年5月17日
第3回	平成29年6月14日
第4回	平成29年7月12日
第5回	平成29年9月13日
第6回	平成29年10月18日
第7回	平成29年11月8日
第8回	平成29年12月13日
第9回	平成30年1月17日
第10回	平成30年2月14日
第11回	平成30年3月14日

1) 諮問委員会

諮問委員会は、学長が必要に応じて設置できる委員会として学則に規定されている。諮問委員会は学長が必要と認めた者で組織される。委員長は学長が指名し、委員長が委員会を招集し、議長となる。現在設置されている諮問委員会は以下のとおりである。

- 自己評価委員会
- 入試・広報委員会
- 教務委員会
- 学生生活委員会
- キャリア・就職委員会
- FD・SD委員会
- 大学入試センター試験実施委員会

2) 附属教育研究機関等の運営委員会

- 図書館運営委員会
- 地域連携センター運営委員会
- 心理相談センター運営委員会
- 保健管理センター運営委員会

- 学修総合支援センター運営委員会

3) 学内規程に基づく委員会

- 労働安全衛生委員会
- エコ推進委員会
- 個人情報運用管理委員会
- ハラスメント防止・対策委員会
- 薬用植物園運営委員会
- 遺伝子組換え生物等委員会
- いわき明星大学勤労奨学金選考委員会
- いわき明星大学奨学生選考委員会
- 動物実験委員会
- バイオセイフティ委員会
- 公開講座運営委員会
- 防火・防災管理委員会
- 不正防止計画推進委員会
- いわき明星大学研究倫理委員会
- 全学教育委員会

5) 教育活動

■優良教員

1. 顕彰種類

「優秀教育賞」

所属学部	氏名等
教 養 学 部	小 池 久 恵
教 養 学 部	中 尾 剛
薬 学 部	金 容 必
薬 学 部	坂 本 直 道
看 護 学 部	鈴 木 久 美 子
全学共通教育	玉 懸 元

2. 顕彰内容

表彰状および副賞10万円の研究・教育費

3. 次点者

各学部の次点者（対象外者を除く）

所属学部	氏名等
教 養 学 部	松 本 麻 子
薬 学 部	松 本 司
看 護 学 部	レンデンマン美智子
全学共通教育	鯨岡アリソン

■派遣講師（平成 29 年度出前講座）

No	期日	高校名	学部	学科	担当教職員	対象 学年	備考
1	6/7	猪苗代	教養	地域教養	西村 康平	1・2	英語とカタカナ語はどう違う？
2	6/7	猪苗代	薬	薬	吉川 真一	1・2	薬の正しい飲み方
3	6/8	福島南	教養	地域教養	大島 典子	3	受験期のストレスマネジメント
4	6/13	水沢	教養	地域教養	菊池 武	2	英語に関する内容
5	6/13	水沢	教養	地域教養	大嶋 淳俊	2	リーダーシップに関する内容
6	6/21	福島西	薬	薬	松本 司	2・3	薬学に関する内容
7	6/22	大沼	教養	地域教養	田中 美和	全	キャリア教育に関する内容
8	6/22	翔洋学園水戸校	教養	地域教養	菊池 武		言語習得研究から考える効果的な英語学習法
9	6/24	安積	教養	地域教養	林 洋一	全	ストレスマネジメント
10	7/3	茨城キリスト教学園	薬	薬	松本 司	2	薬学に関する内容
11	7/12	いわき総合	教養	地域教養	大原 貴弘	1	意識と無意識の心理学
12	7/12	いわき総合	薬	薬	松本 司	1	漢方に学ぶ健康の知恵
13	7/13	小名浜	教養	地域教養	大津 理香	2	語学に関すること
14	7/21	翔洋学園水戸校	教養	地域教養	松本 麻子		江戸時代の字を読んでみよう
15	9/7	相馬東	薬	薬	永田 隆之		薬学に関する内容
16	9/11	岩瀬農業	薬	薬	山崎 勝弘	全	薬物乱用防止に関すること
17	9/13	尚志	看護	看護	木部 美知子	1	看護に関する内容
18	9/19	相馬	薬	薬	松本 司	2	薬学に関する内容
19	10/4	いわき総合	教養	地域教養	中尾 剛	1	メディアリテラシーについて
20	10/6	西会津	看護	看護	大河内 敦子	1・2	看護に関する内容
21	10/20	湯本	教養	地域教養	高島 翠		心理学に関する内容
22	10/24	喜多方	看護	看護	鈴木 久美子		
23	10/25	ふたば未来学園	教養	地域教養	中尾 剛		
24	11/1	ふたば未来学園	教養	地域教養	中尾 剛		

No	期日	高校名	学部	学科	担当教職員	対象学年	備考
25	11/6	聖和学園高等学校 (薬師堂キャンパス)	薬	薬	梅村 一之	1	薬学に関する体験型授業
26	11/9	日立第一	教養	地域教養	名取 洋典	全	
27	11/14	小野	教養	地域教養	大原 貴弘	PTA	保護者向けガイダンス
28	11/16	いわき光洋	薬	薬	永田 隆之	2	薬学に関する内容
29	11/16	白河実業	教養	地域教養	高島 翠	2	文学・心理学
30	11/17	磐城	教養	地域教養	名取 洋典	1	「やる気」について考える。
31	11/22	安達	薬	薬	金 容必	2	薬学に関する内容
32	11/30	長沼	教養	地域教養	林 洋一	教員	ストレスとうまくつきあってみませんか？
33	12/14	磐城第一	薬	薬	金 容必	1・2	
34	2/26	第一学院(郡山)	教養	地域教養	大原 貴弘	全	意識と無意識の心理学
35	3/7	石川(私立)	看護	看護	富岡節子	1・2	看護に関する内容

■派遣講師（出張市民講座）

No.	期日	主催者(依頼者)	学部	学科	講師	事業名・講座名	講演タイトル	参加者
1	4/23	いわき市産業振興部	地域連携センター 事務室		西村睦子	高校3年生とその保護者を対象とした説明会で講演	就職活動と保護者のサポート等について	300
2	4/29	いわき市産業振興部	教養	地域教養	佐原太一郎	高校3年生とその保護者を対象とした説明会で講演	就職活動と保護者のサポート等について	300
3	6/3	北茨城市教育委員会	教養	地域教養	石丸純一	前期 北茨城市民大学講座「社会学講座」第1回	落語の社会学「長屋の花見」:長屋生活&花見の文化	15
4	6/17	〃	〃	〃	〃	〃 第2回	落語の社会学「時そば」:屋台の文化、社会生活と時間	13
5	7/1	〃	〃	〃	〃	〃 第3回	落語の社会学「千早振る」:巷の知識人、伝統文化とパロディ	11
6	7/15	〃	〃	〃	〃	〃 第4回	落語の社会学「あくび指南」:隅田川の舟遊び、稽古事の社会的機能	11

No.	期日	主催者(依頼者)	学部	学科	講師	事業名・講座名	講演タイトル	参加者
7	7/22	〃	〃		〃	〃 第5回	落語の社会学「千両みかん」:価値の倒錯、「一眼国」:正常と異常の転換	10
8	6/8	いわき市立好間公民館	教養	地域教養	高島 翠	市民講座「好間女性セミナー」	錯覚の世界へようこそ	18
9	6/27	いわき市立湯本第三中学校	教養	地域教養	石川哲夫	中学1年生チャレンジデー(総合的な学習の時間) 大学見学・授業体験・学食体験	環境問題、再生可能エネルギーなどについて ~水素燃料電池車見学	30
10	6/29	田村市立滝根小学校	教養	地域教養	石川哲夫	小学5年生 宿泊学習 大学見学・授業体験・学食体験	地球温暖化と再生可能エネルギーについて ~水素燃料電池車見学	44
11	7/10	いわき市立好間第二小学校	教養	地域教養	高橋義考	小学4年生 理科	ロボットと人、ザリガニのからだの動きを比べよう	43
12	7/11	いわき市立勿来第二中学校	教養	地域教養	石川哲夫	放射線教育講座	放射線教育	50
13	7/12	南相馬市市民生活部	教務学生支援センター		信田重成	子どもサイエンス講座 事業 小学4年生	顕微鏡を作ってみよう	19
14	7/13	いわき市立好間第二小学校	教養	地域教養	石川哲夫	小学5年生 理科	放射線教育	38
15	7/21	いわき市立山田公民館	教養	地域教養	高島 翠	市民講座「山田レディースセミナー」	錯覚の世界へようこそ ~伝わるデザイン・伝わらないデザイン~	18
16	7/26	福島大学うつくしまふくしま未来支援センター	教養	地域教養	中尾 剛	川内村 夏休み BASIC プログラミング ワークショップ	川内村の小学4年生 ~中学3年生が対象	24
17	7/31	公益財団法人福島県身体障がい者福祉協会	教養	地域教養	鎌田真理子	福島県身体障がい者相談員及び知的障がい者相談員等研修会	障がい福祉の現状と課題	20
18	8/4	公益財団法人福島県身体障がい者福祉協会	教養	地域教養	鎌田真理子	福島県身体障がい者相談員及び知的障がい者相談員等研修会	障がい福祉の現状と課題	20

No.	期日	主催者(依頼者)	学部	学科	講師	事業名・講座名	講演タイトル	参加者
19	8/22	福島県高等学校教育研究会養護教諭部会会津支部	看護	看護	久米美代子	福島県高等学校教育研究会養護教諭部会会津支部夏季研修会	女性の健康について考えてみよう ～ウーマンズヘルス～	27
20	8/30	県立いわき総合高等学校	教養	地域教養	窪田文子	ストレスマネジメント(1年次)	ストレスマネジメント	200
21	8/30	福島県高等学校教育研究会理科部会いわき支部	薬	薬	山崎直樹	福島県高等学校教育研究会理科部会 総会時の講演	薬のプロフェッショナル～骨格構造式の流儀～	120
22	9/6	いわき市立中央公民館	教養	地域教養	松本麻子	市民講座「ことぶき文化学園」	妖怪の歴史	129
23	9/25	いわき市立好間第二小学校	教養	地域教養	石川哲夫	校内授業研究会(5年社会科授業)における学習指導方法等に関する指導助言		*
24	10/5	南相馬市市民生活部	看護	看護	瀬戸愛子	就学時健診子育て講座	親の役割について	78
25	10/10	南相馬市市民生活部	教養	地域教養	高橋義考	子どもサイエンス講座 事業 小学5年生	二足歩行ロボットの操作体験	56
26	10/19	南相馬市市民生活部	看護	看護	久米美代子	就学時健診子育て講座	こどもの心の発達と親子関係について	27
27	10/19	いわき市立植田公民館	薬	薬	松本 司	市民講座「漢方に学ぶ養生の秘訣」第1回	漢方～先人達からの贈り物～	27
28	11/16	〃	〃	〃	〃	〃 第2回	薬食同源、医食同源	22
29	12/21	〃	〃	〃	〃	〃 第3回	季節毎の養生法	20
30	11/3	いわき市教育委員会	薬	薬	佐藤龍昌	いわきグローバルアカデミー「いわき志塾」	いわき市内の中学生の希望者、いわき生徒会長サミット卒業生が対象(10名の先生でワークショップを)	*
31	11/26	福島大学うつくしまふくしま未来支援センター	教養	地域教養	中尾 剛	川内村 BASIC プログラム ワークショップ	川内村の小学4年生～中学3年生が対象	13

No.	期日	主催者(依頼者)	学部	学科	講師	事業名・講座名	講演タイトル	参加者
32	12/17	福島大学うつくしま ふくしま未来支援センター	教養	地域教養	中尾 剛	川内村 BASIC プログ ラミング ワークシヨ ップ	川内村の小学4年生 ～中学3年生が対象	20
33	1/26	いわき市立上遠野 公民館	教養	地域教養	松本麻子	市民講座	妖怪の歴史	12
34	1/30	南相馬市市民生活 部	薬学 部	薬学科	梅村一之	子どもサイエンス講座 事業 小学6年生	指紋の検出に挑戦ほ か	56
35	2/16	いわき市青少年育 成市民会議 平地 区推進協議会	教養	地域教養	山本佳子	教育文化講演会	子育てについて児童 心理学の観点から考 える	88

■授業改善アンケート

- ▼[科学技術学科（前期）](#)
- ▼[科学技術学科（後期）](#)
- ▼[地域教養学科（前期）](#)
- ▼[地域教養学科（後期）](#)
- ▼[薬学科（前期）](#)
- ▼[薬学科（後期）](#)

6) 社会貢献活動

■外部委員・講師一覧

- ▼[平成29年度外部委員・講師一覧](#)

7) 研究活動

■外部資金採択状況

学部学科	研究者	研究課題・業務内容	委託先	金額
科学技術学部 科学技術学科	岩田 恵里	学生生活におけるイヌとヒトの唾液中オキシトシン濃度および行動解析を用いた「動物ふれあい活動」の効果評価の試み	公益財団法人 日本愛玩動物 協会	500,000
教養学部 地域教養学科	初見 康行	若年早期離職と職場の人間関係 - アイデンティフィケーションからの実証研究	GMO リサーチ 株式会社	1,000,000
薬学部 薬学科	奈良 武司	シャーガス病治療薬の開発	理化学研究所	2,000,000

教養学部 地域教養学科	石丸 純一	震災メモリアル事業（アーカイブ）所在調査業務	いわき市	8,493,031
教養学部 地域教養学科	大嶋 淳俊	大学等が連携した「まち・ひと・しごと」創生推進事業 いわき市におけるウェルネスビジネス推進のための調査研究～健康・観光・スポーツによる地域活性化～	いわき市	1,999,974
教養学部 地域教養学科	山口 憲二	地域経済動向調査事業	四倉商工会	285,120
薬学部 薬学科	久保田 耕司	化粧品成分の皮膚浸透性の解析	广州市花安堂 生物科技有限公司	682,000
教養学部 地域教養学科	土谷 幸久	福島県学術教育振興財団助成対象事業 いわき市・福島県の中堅・優良企業の強みの研究	福島県学術教育振興財団	519,014

■外部発表・研究紀要

▼[科学技術学部](#)

▼[人文学部・教養学部](#)

▼[薬学部](#)

▼[看護学部](#)

8) FD・SD 研修

■全体研修

平成 29 年度第 1 回全学 FD・SD 研修会

日程：9 月 9 日（土）

テーマ：成績評価指標と評価基準を明確化し、ルーブリック評価を構築するために

参加率：85.7%（教員：87.6%，事務職員：84.6%）

平成 29 年度第 2 回全学 FD・SD 研修会

日程：3 月 10 日（土）

テーマ：ルーブリック評価の導入と実践に向けて全学的な共通認識を図るために

参加率：67.4%（教員：74.3%，事務職員：41.9%）

■学部別研修

科学技術学部

日程：5/23, 6/27, 9/26, 12/19（4回）

テーマ：出席率の低い学生対応について

参加率：1回：80%, 2回：100%, 3回：100%, 4回：90%

教養学部

日程：2月8日（木）

テーマ：退学者減に向けての教育内容改善

参加率：63.4%

薬学部

日程：5/27, 6/24, 9/23, 10/28, 11/25, 12/22, 2/21（7回）

テーマ：教育の質的改善のためのPDCAサイクルを稼働させ、学生の学力向上に繋げる

参加率：1回：87.1%, 2回：93.5%, 3回：90.3%, 4回：87.1%, 5回：87.1%

6回：74.2%, 7回：87.1%

看護学部

日程：11月21日（火）

テーマ：組織を活かす（講演）

参加率：88%

日程：2月2日（金）

テーマ：新設看護学部看護教員の役割（講演）

9) 施設・設備

■施設貸出一覧

▼[平成29年度施設利用状況](#)

■キャンパスマップ

▼[平成29年度キャンパスマップ](#)